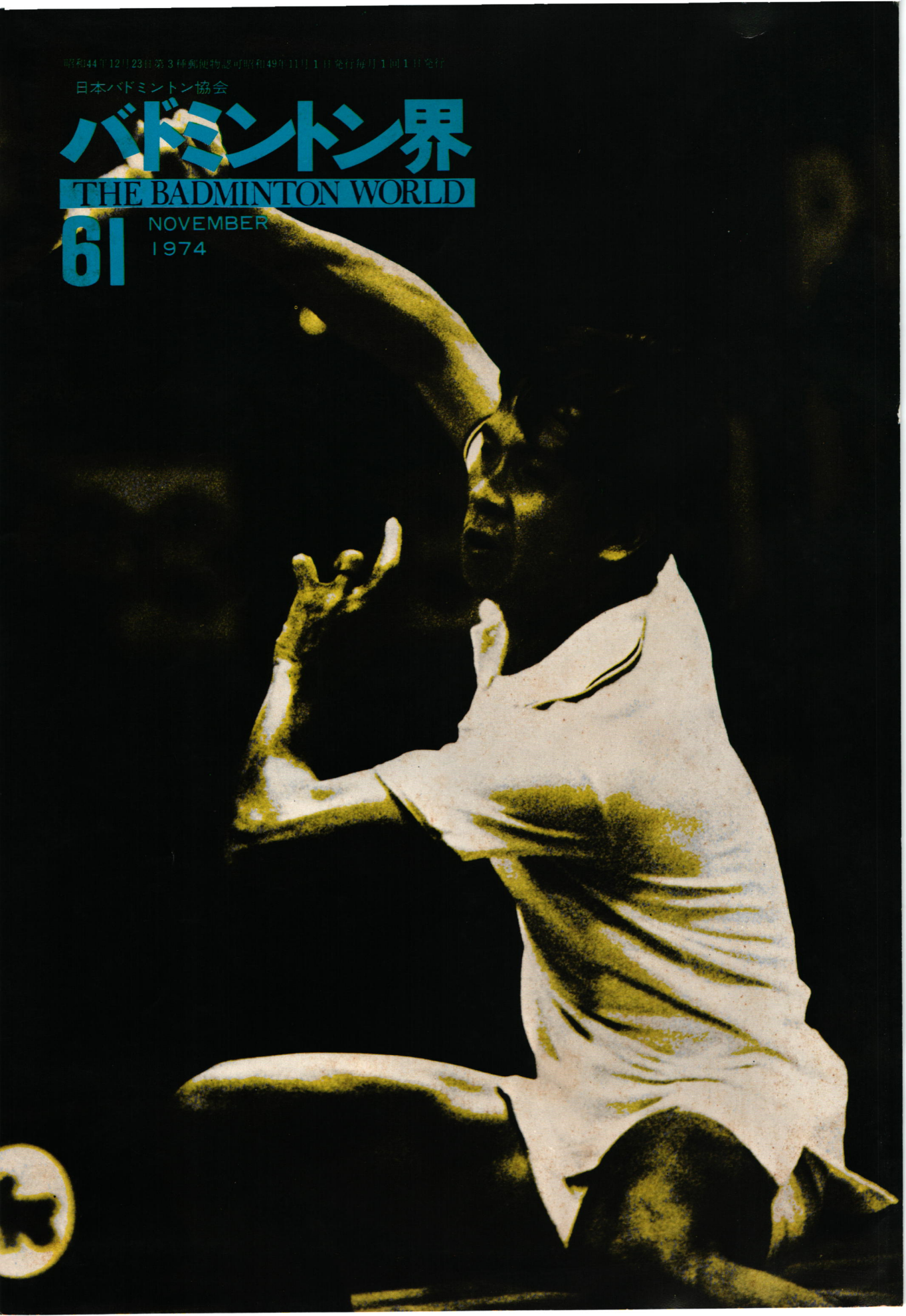
昭和44年12月23日第3種郵便物認可昭和49年11月1日発行毎月1回1日発行

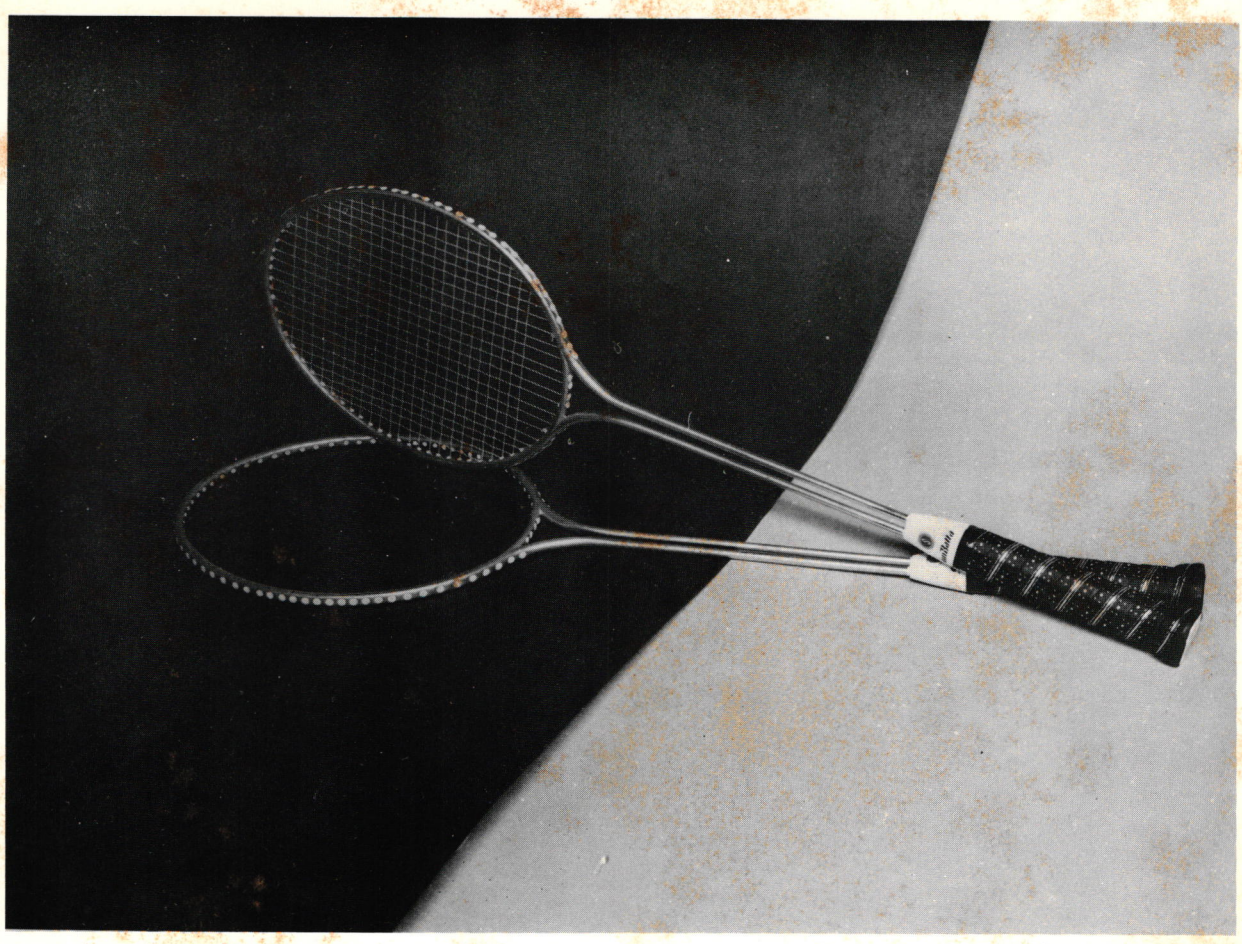
日本バドミントン協会

バドミントン界

THE BADMINTON WORLD

61 NOVEMBER 1974





ALL STEEL RACKET SunBatta TWIN SHAFT

究明され！
完成された！
S-74
ALL ROUND

プレーヤーが長い間求めていたオールスチールが誕生しました。
従来のオールスチールラケットの利点及び欠点をあらゆる角度から究明され改良をし今ここに完成され皆様の目の前に現われました。
ツインシャフトの採用によって、フレームとシャフトとのひねりが最小限に押えられ自由自在なショットを楽しむ事が出来るでしょう。
アタックによし、レシーブによし、それがS-74オールラウンドです。
◇フレームのみ（ケース付）￥ 5,000

SunBatta TOKYO TRADE MARK

サンバタ

THE BADMINTON WORLD・NOVEMBER 1974
バドミントン界 11月号・NO.61

表紙撮影・山田真市　同制作・小浜正道

■第29回国民体育大会
東京、神奈川の四連覇をはばむ　2
栂野尾、単複に大活躍（一般男子）　4
若手和歌山県が制す（教員男子）　6
山形チーム接戦を抜けだし栄冠（高校男子）　7
新潟が総体の雪辱をはたし優勝（高校女子）　9
■東日本学生選手権
松口単複を制す、女子は日体大の独壇場　10
■西日本学生選手権
江口気迫の勝利、女子は徳田が単複に楽勝　12
■目で見る技術講座（全英選手権から）
M・A・ギルクスのスマッシュ　17
R・ハルトノのクリアー　18
R・ハルトノのスマッシュ　19
カガード・ストランド組×ギルクス・ベック組　20
P・グナランのスマッシュ　22
P・グナランのプッシュ　23
カガード・ストランド組×ギルクス・ベック組　24
■ビギナーへの手紙（羽戸民教）第6回
テレビスポーツ教室うらばなし　27
■第2回国際招待バドミントン大会
日本チーム苦杯　32
■体当たり実戦教室（小島一平）第10回
これがダブルスに勝つ秘訣だ　35
マスコミのとらえたバドミントン　38
協会通信　39
みんなで見にいこうオール・ジャパン　40

〔おことわり・好評連載の「私の歩んできた道」を今月は休載いたします〕

第29回国民体育大会バドミントン競技会

●茨城県石岡市

（一般男子）

東京、神奈川の四連覇をはばむ

栂野尾，単複に大活躍

高校は山形と新潟が接戦の末栄冠

第29回国民体育大会バドミントン競技会は10月21日から、三日間、茨城県石岡二高、石岡小学校両体育館で行なわれたが、一般男子の部で、東京都が過去三連勝で四連覇をねらう神奈川県を接戦ながらストレートで降し、優勝をとげたほか、各種目において熱戦が展開された。

▼一般男子▽準決勝

東京2－0愛知

池田 栂野尾 2 — 15 15 18 / 13 15 16 — 11 15 16 — 1 本間 谷口

池田 2 — 15 15 9 / 0 — 0 谷口

神奈川2－1富山

小島 宮川 0 — 8 8 15 / 15 15 15 — 2 今泉 河村

笠井 2 — 15 12 15 6 / 10 15 6 — 1 牧野

小島 2 — 15 15 / 1 10 — 0 今泉

松島 本間 0 — 5 3 / 15 15 — 2 今泉 河村

谷口 2 — 15 18 6 / 3 17 15 — 1 牧野

本間 2 — 15 15 10 / 4 9 15 — 1 今泉

▽三位決定戦

愛知2－1富山

石崎 柴山 2 — 11 11 / 5 8 — 0 田所

石崎 2 — 18 15 6 / 13 — 0 田所 東川

高野 2 — 11 11 7 / 7 0 11 — 0 日比野

田村 高野 2 — 15 15 13 / 5 10 18 — 1 天野 名和

▽決勝

東京2－0香川

北海道2－0岐阜

田所 2 — 11 12 11 / 8 11 — 0 日比野

川東 2 — 11 11 / 1 1 — 0 名和

田所 川東 1 — 16 17 5 / 18 15 15 — 2 天野 名和

香川2－1岐阜

石崎 2 — 11 11 / 0 0 — 0 藤島

柴山 石崎 2 — 15 18 / 3 14 — 0 高田 野村

▼一般女子▽準決勝

東京2－0北海道

栂野尾 2 — 17 15 7 / 16 9 15 — 1 笠井

池田 栂野尾 2 — 15 15 / 13 8 — 0 小島 宮川

▽決勝

東京2－0神奈川

▼教員男子▽準決勝

石川2－1茨城

原 長谷川 2 — 15 15 2 / 7 — 0 関本 佐藤

高来 0 — 5 7 15 / 15 — 2 佐藤

長谷川 2 — 15 15 / 10 8 — 0 大川

武門藤 和歌山 0 — 8 13 15 / 15 — 2 佐藤 佐藤

森 2 — 15 15 / 11 3 — 0 佐藤

門間 2 — 15 15 / 6 3 — 0 宮崎

佐藤 関本 2 — 15 15 7 / 6 7 15 — 1 佐藤 佐藤

大川 2 — 15 15 / 6 2 — 0 宮崎

▽三位決定戦

茨城2－0青森

▽決勝

和歌山2－1青森

武門藤 間 2 — 15 18 / 12 17 — 0 長谷川 原

森 2 — 15 15 / 4 3 — 0 高来

塚本 小倉 2 — 15 18 / 5 16 — 0 立川 富田

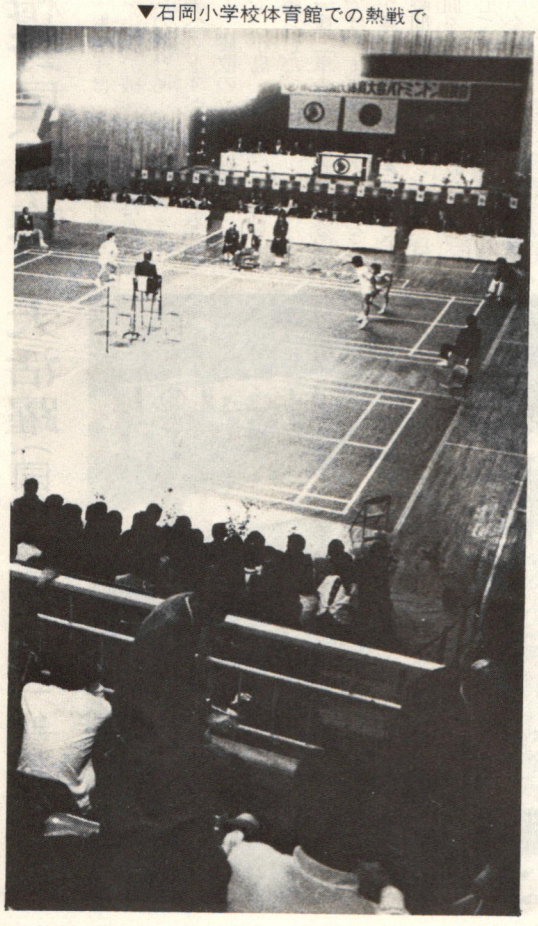
塚本 2 — 15 15 / 9 5 — 0 大関

▼高校男子▽準決勝

奈良2－0茨城

和歌山2－0石川

▼石岡小学校体育館での熱戦で



山形2―1福井

米山 2 (15 15―9) 0 加藤
加藤 2 (15 15―8) 0 諏訪 長谷川

米山 2 (15 18―11 13) 0 中村
加藤 0 (8 6―15 15) 2 長谷川

▽三位決定戦
福井2―0茨城

長谷川 諏訪 2 (15 11―2 15 7) 1 立富 川田
中村 2 (15 15 8―9 9 15) 0 立川

▽決勝
山形2―1奈良

山形 米山 2 (15 15―5 6) 0 小塚 倉本

▼高校女子▽準決勝
香川2―0岐阜

加藤 1 (10 5―15 15 7) 2 塚本
米山 2 (15 15―1 9) 0 村田

牛田 渡辺 2 (15 15―7 4) 0 多広 賀瀬
牛田 2 (11 11―8 3) 0 広瀬

関根 大塚 2 (15 15―8 11) 0 比植 村野
新潟2―0大阪

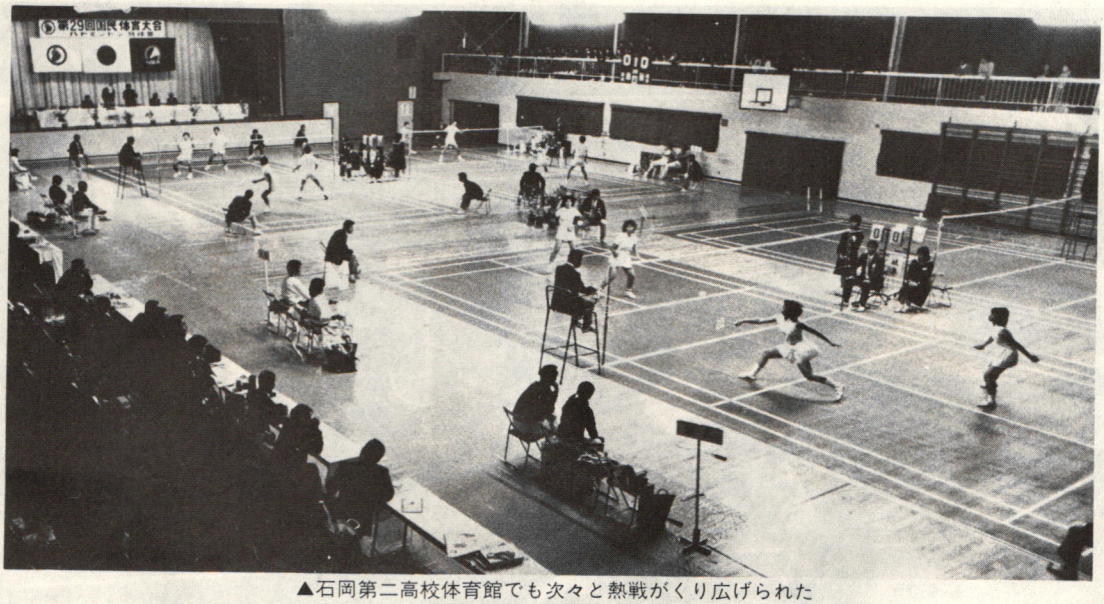
大塚 2 (11 6 11―9 11 2) 1 植野

▽三位決定戦
大阪2―0岐阜

植野 比村 2 (15 15―9 3) 0 多広 賀瀬
植野 2 (11 12―2 10) 0 広瀬

▽決勝
新潟2―1香川

関根 大塚 2 (15 15―5 9) 0 渡辺 牛田
関根 0 (4 6―11 11) 2 牛田
大塚 2 (11 11―1 3) 0 渡辺



▲石岡第二高校体育館でも次々と熱戦がくり広げられた

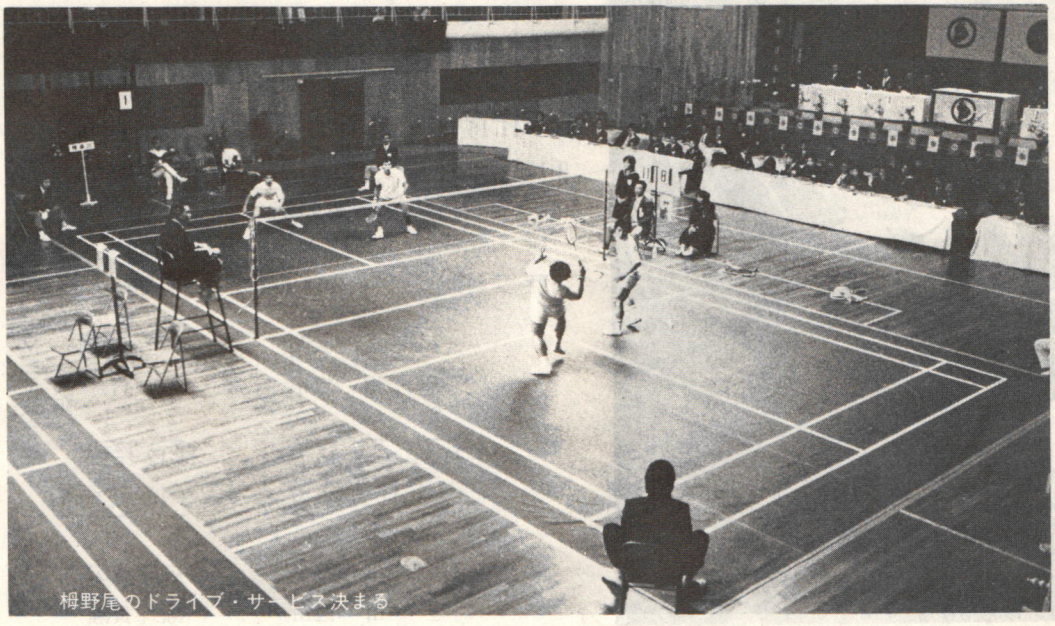
栂野尾、単複に大活躍（国民体育大会一般男子）

一般男子は、東京都が神奈川県を決勝で破って優勝したが、東京の栂野尾・池田組は、まず全英ベスト4ペアの実力を発揮して、勝敗のカギを握るダブルスで、小島・宮川組にストレート勝ちした。

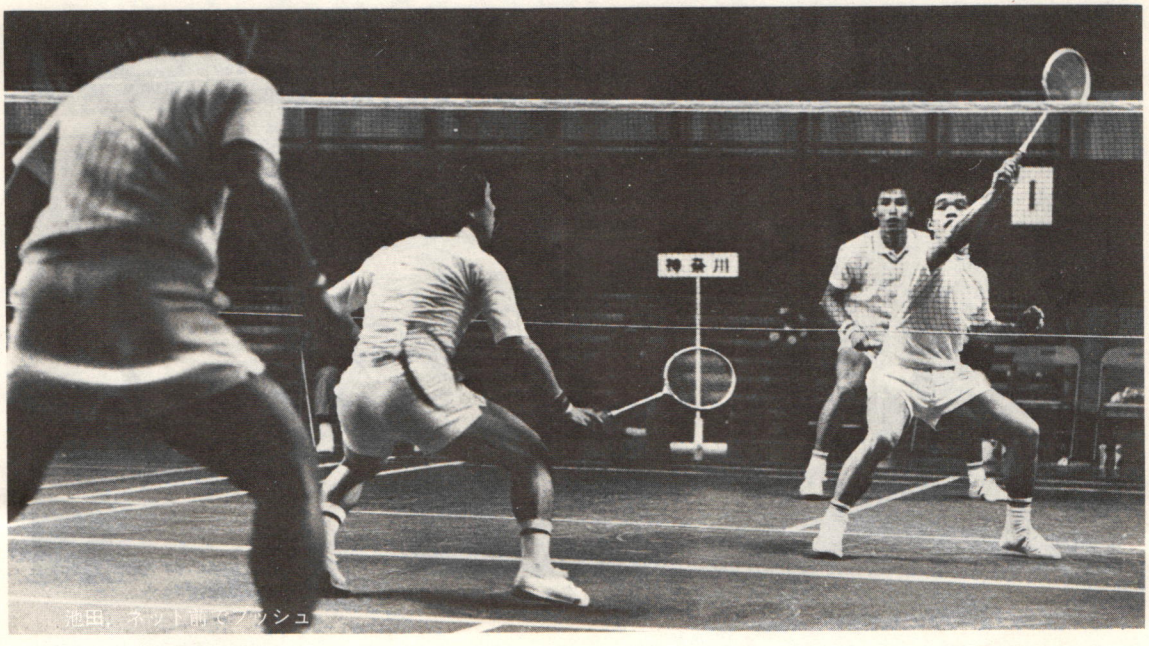
一複二単の試合形式をとる国体では、まずダブルスをとることが勝つための第一条件。しかし時間の都合からシングルスは二面を使って同時に行なった。そして、第二シングルスの池田が、全日本チャンピオンの小島に敗れ、栂野尾・笠井戦にすべてが託された。

昨年につづき、快調の笠井に対し、栂野尾もじっくりと攻め、試合はファイナルゲームにもつれこんだ。

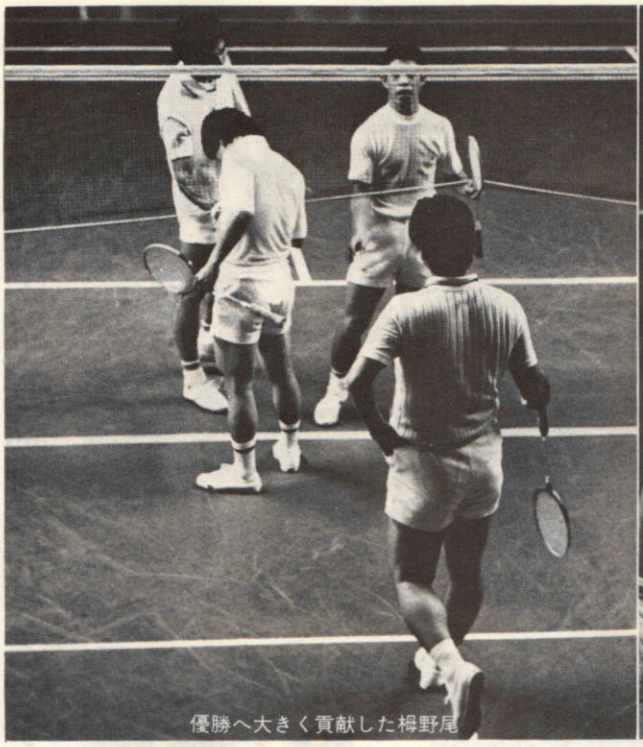
そして第三ゲーム12オールの最大のヤマ場で、笠井サービスのとき、ネット前で笠井は見事なプッシュを決めた。13－12で笠井逃げ切るかと思われた瞬間、主審は〝笠井選手の足がセンターラインを越えた〟との判定。この判定をきっかけに流れは栂野尾に変わり、セッティングの16オールの末、わずか一ポイント差で優勝を奪いとった。



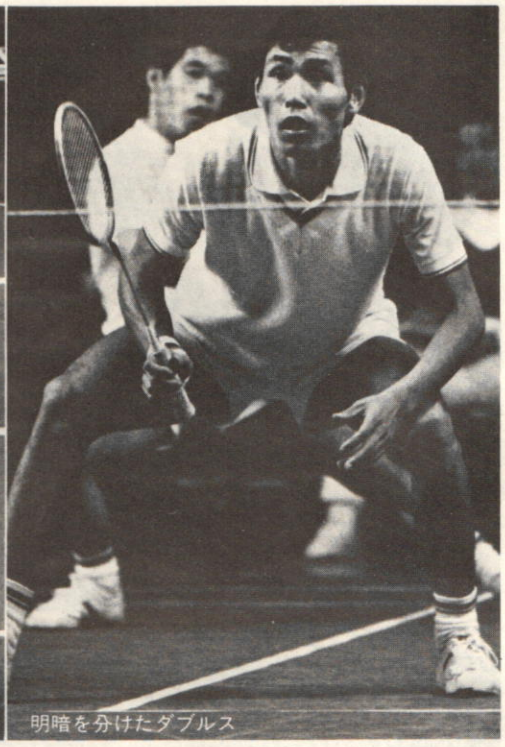
栂野尾のドライブ・サービス決まる



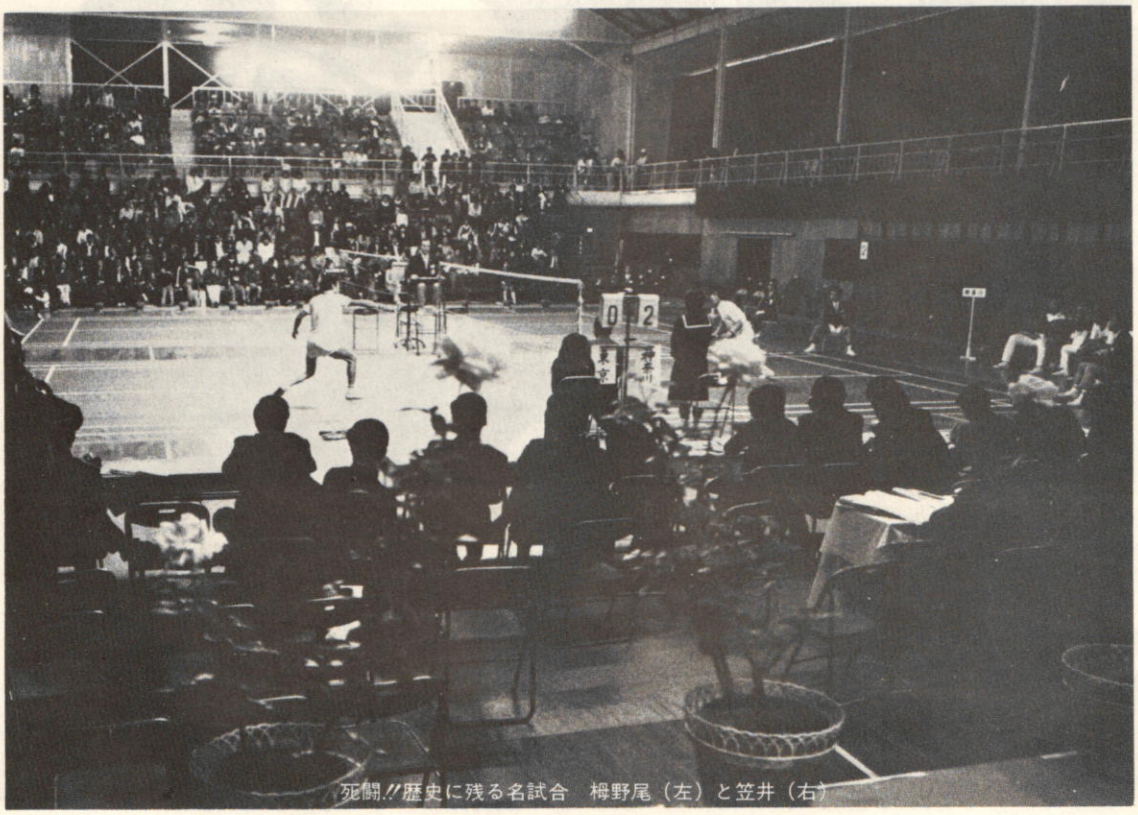
池田、ネット前でプッシュ



優勝へ大きく貢献した梅野尾

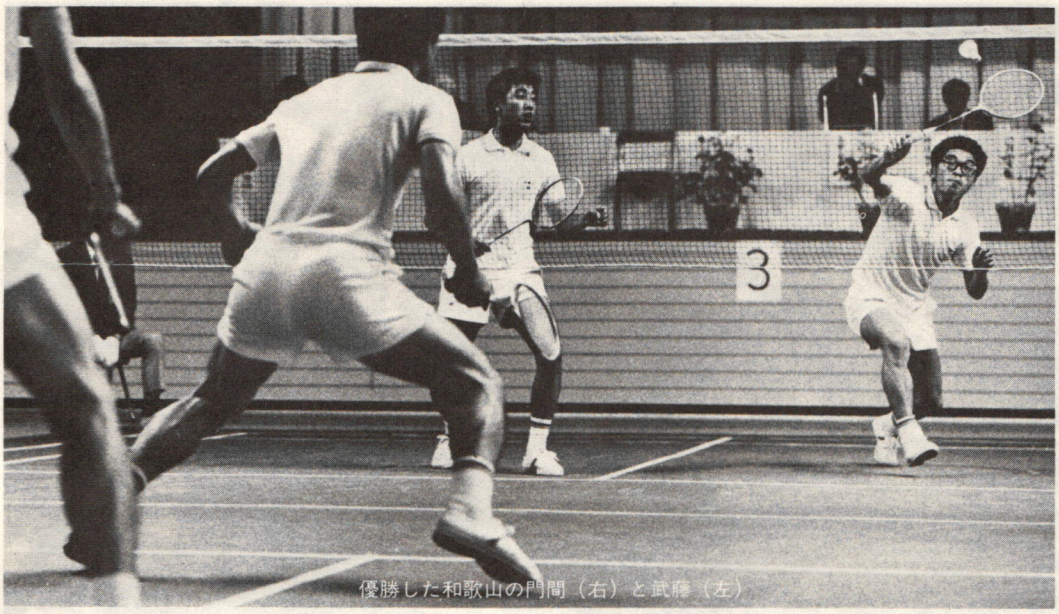


明暗を分けたダブルス

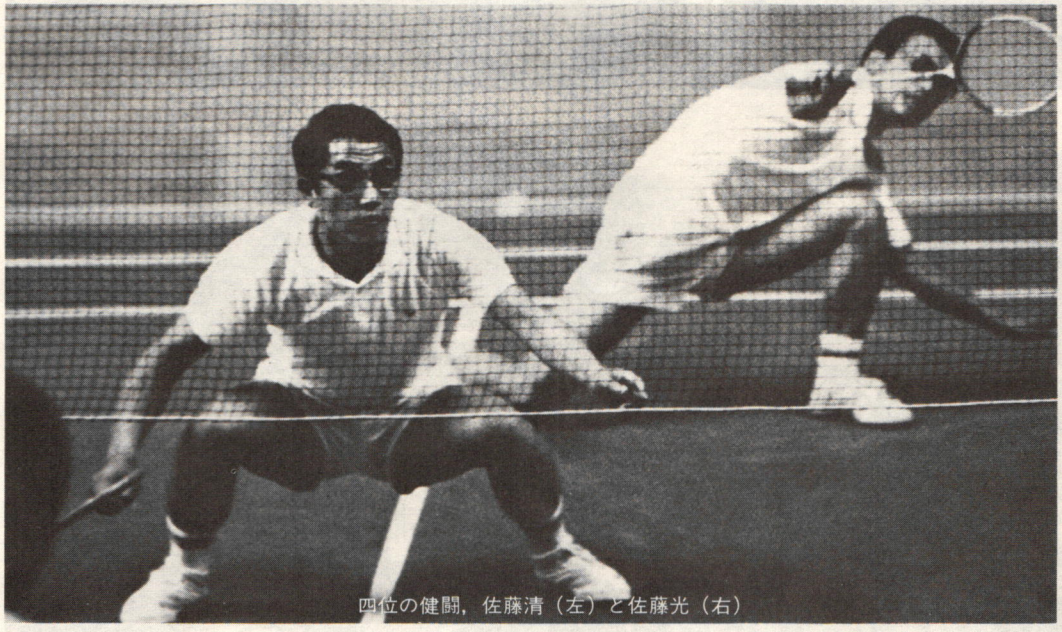


死闘!!歴史に残る名試合　梅野尾（左）と笠井（右）

若手和歌山県が制す（教員男子）



優勝した和歌山の門間（右）と武藤（左）



四位の健闘，佐藤清（左）と佐藤光（右）

教育男子は若手の門間、森、武藤でチームを編成した和歌山県が優勝した。

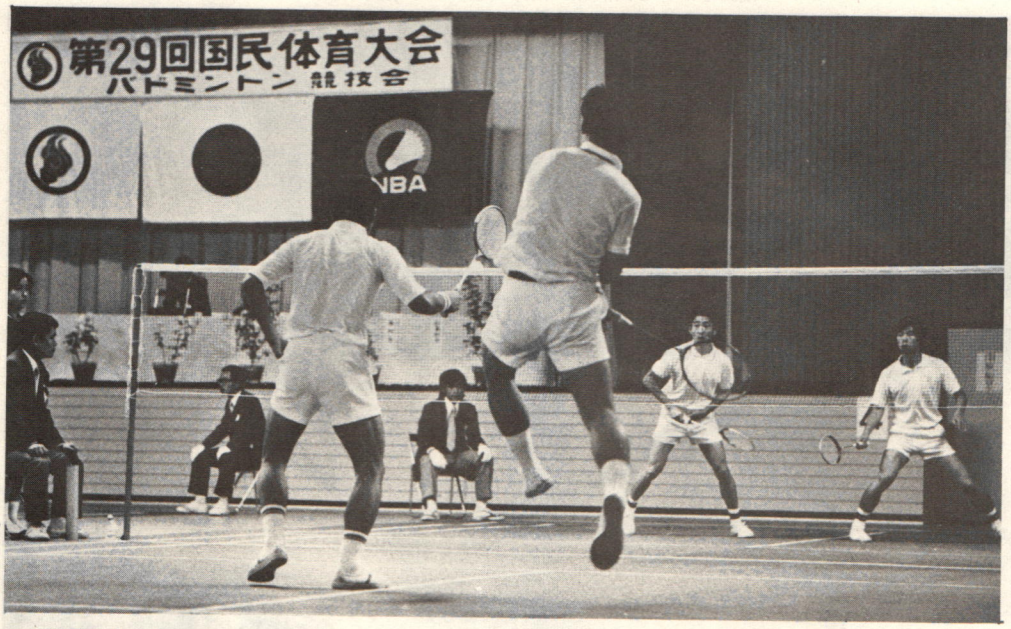
四位に入賞した青森県チームも、早大出のベテラン佐藤（清）と日体大出の佐藤（光）がよくがんばり、準決勝で和歌山からダブルスを先取したが、シングルスでポイントをあげることができなかった。

一方石川県は準決勝で地元の大声援を受けて張り切る茨城県と対戦し、長谷川が社会人大会三位の力をみせて、単複でポイントをあげて、決勝へ進出した。

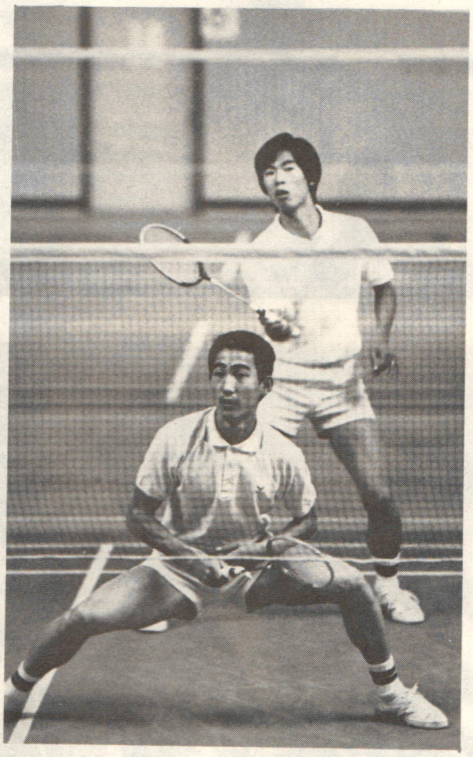
しかし、決勝では、和歌山チームの若さあふれるプレーの前に、ダブルスで圧倒され、ストレート負け、つづく第一シングルスで高来が敗れ、長谷川を使えないまま二位に甘んじた。

やはり、若手でチームを組んだ和歌山県はスピード、スタミナで上回り、とくに門間は、全日本教職員での優勝の余裕からか、終始自分のペースでゲームを進め、見事にチームを優勝へ導いた。

山形チーム　接戦を抜けだし栄冠（高校男子）

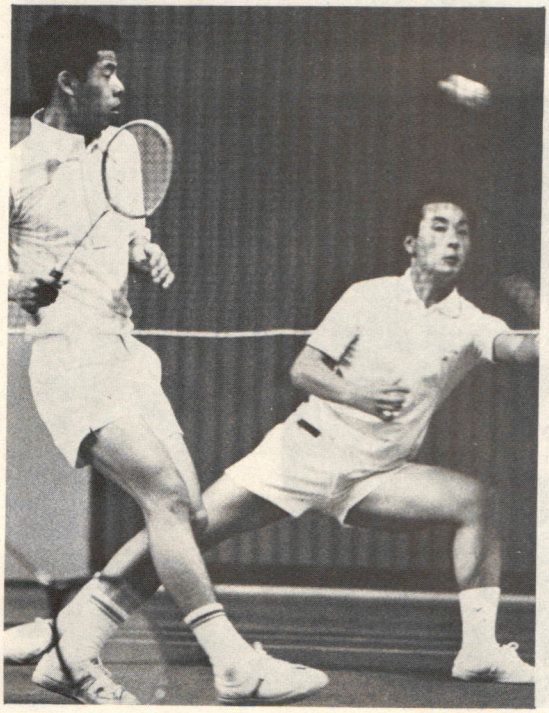


▲決勝のようす

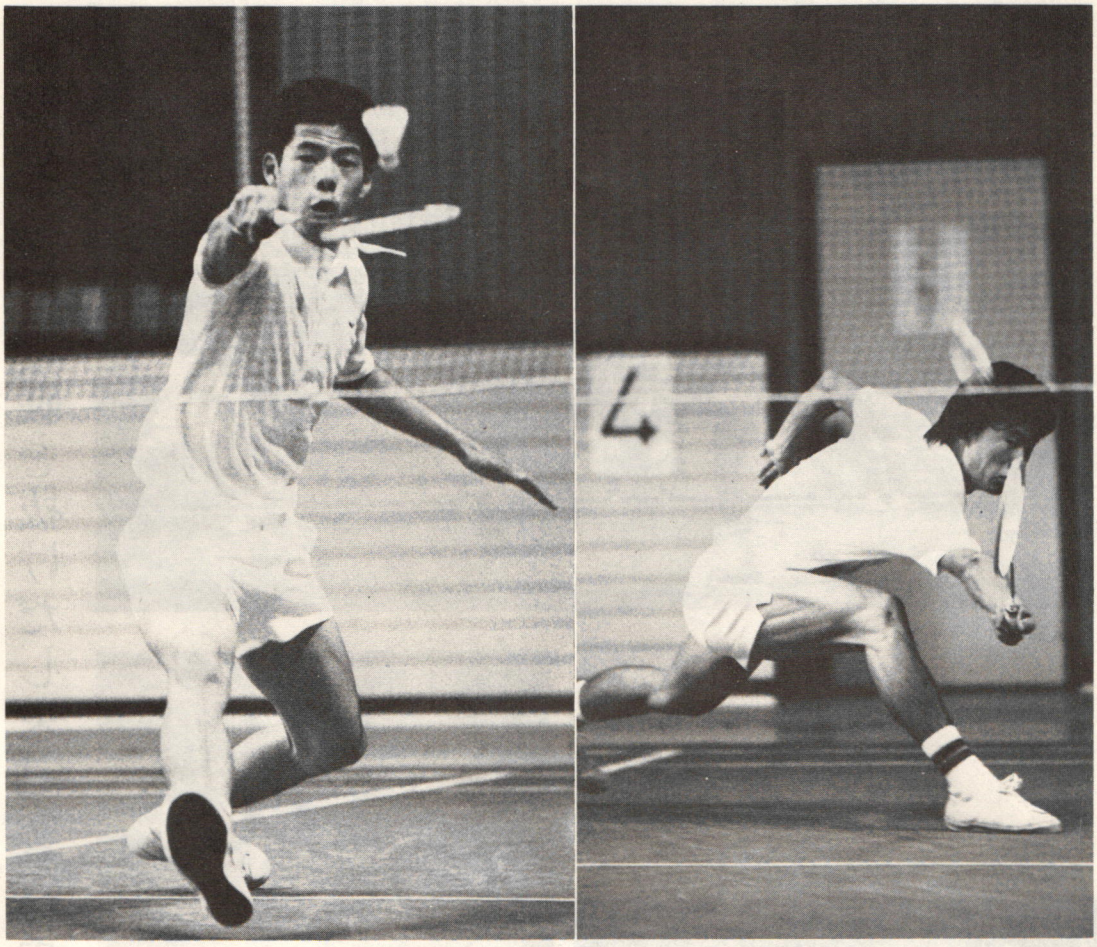


▲奈良チーム，塚本・小倉組

▼山形チーム，米山・加藤組



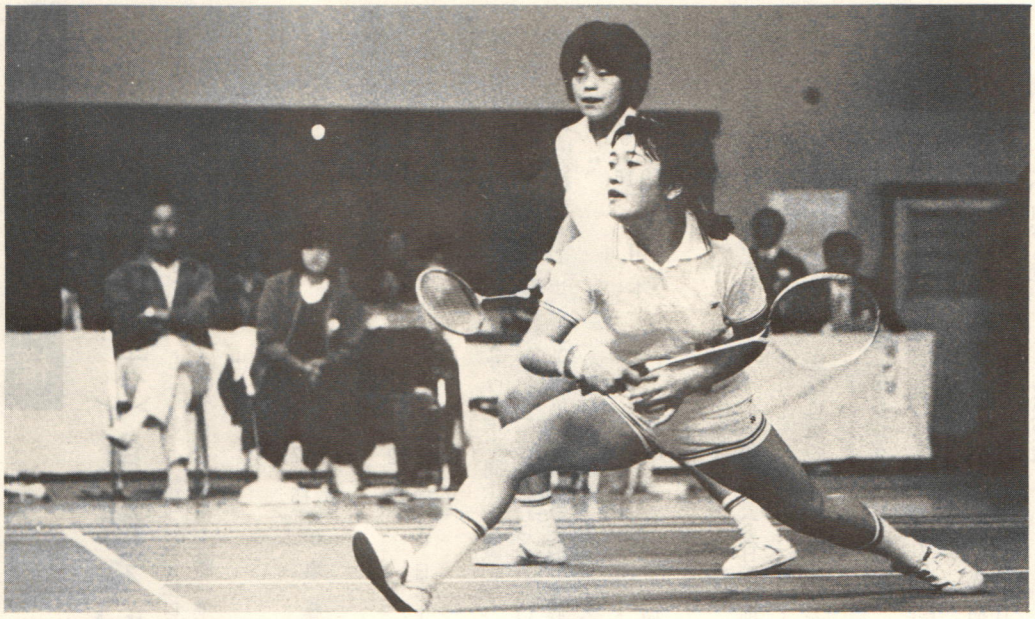
優勝をかける大熱戦　山形（左）ＶＳ奈良（右）



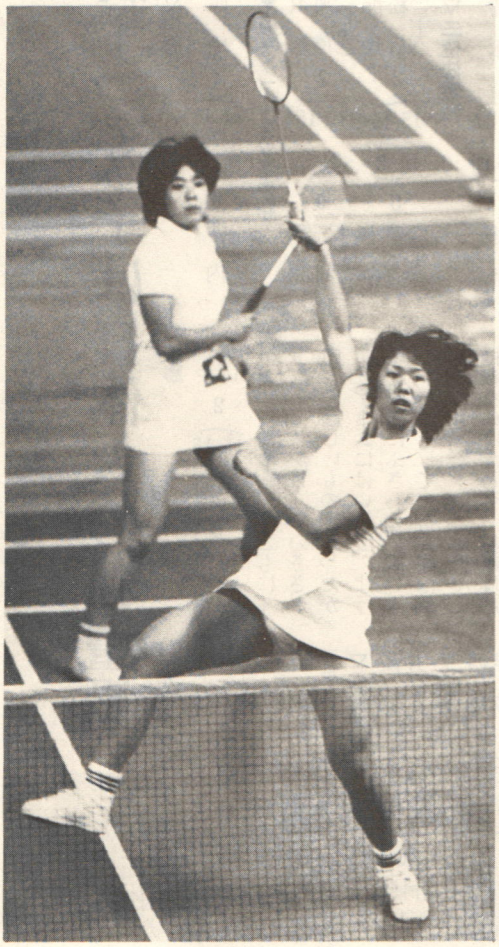
けんめいの大声援を送る香川チーム



新潟が総体の雪辱をはたし優勝（高校女子）

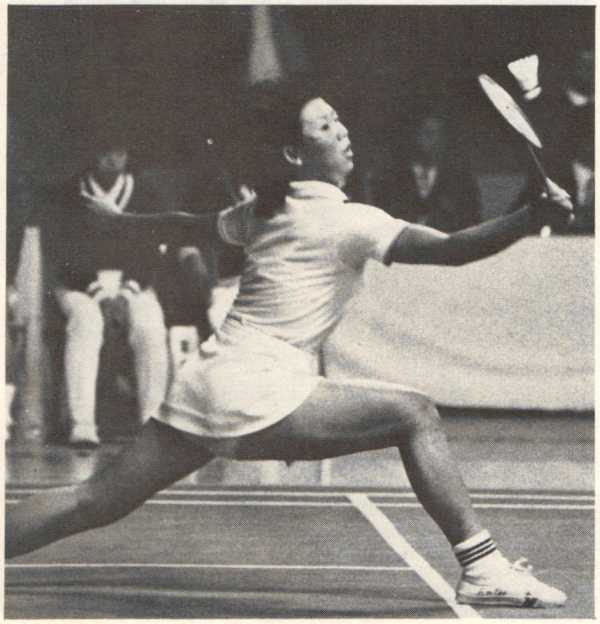


▲見事優勝の大塚・関根組（新潟）



◀三位にとどまった大阪の植野・比村組

▼大塚に接戦で敗れた植野



東日本学生選手権

松口（早大）単複を制す、女子は日体大の独壇場

本年度の東日本学生ランキングは別表のとおり決定したが、ここで、去る7月に開催された第17回東日本学生選手権をふりかえってみたい。

▼男子シングルス▽準決勝

日下（中大） 2 (15—6, 15—1) 0 須藤（日体）

★昨年度チャンピオンの日下は意欲的な攻撃で、第一ゲーム中盤から圧倒的な強さをみせ、第二ゲームは須藤を全くよせつけず圧勝した。

松口（早大） 2 (9—15, 15—10, 15—6) 1 山本（中大）

★第一ゲームは、山本のスマッシュ攻撃が冴え、松口の追い上げを許さず、まず先行。しかし、第二ゲームにはいると松口はようやく自分のペースをつかみ、すばやい動きでファイナルゲームにもちこんだ。そして、ファイナルゲームも快調で8—0でチェンジエンド。このまま一方的に終わるかと思われたが、山本も意地をみせ、8—6まで追い上げた。しかし、山本のがんばりもここまで。結局その後松口はポイントを与えず決勝へ進出した。

▽三位決定戦

山本 2 (17—15, 15—0) 0 須藤

▽決勝

松口 2 (12—15, 15—12, 15—7) 0 日下

★サウスポー同士の対戦となったが、二連勝をねらう日下はまず第一ゲームを先取、優勝へ一歩近づいた。第二ゲームも優位のまま11—10とリードしていたが、ここで日下は痛いネット前のミスをおかし、松口にツキが回っていった。ファイナルゲームも日下は前半リードしながらミスが多く、結局自滅の形で松口に栄冠をさらわれた。

▼女子シングルス▽準決勝

西尾（日体） 2 (11—3, 11—4) 0 井上（日体）

陣内（日体） 2 (11—4, 11—5) 0 佐伯（日体）

▽三位決定戦

佐伯 2 (11—9, 11—9) 0 井上

▽決勝

西尾 2 (11—8, 11—6) 0 陣内

▼男子ダブルス▽準決勝

須藤 栗原（日体） 2 (15—3, 15—3) 0 鈴木 三浦（東北学）

折井 松口（早大） 2 (15—3, 15—6) 0 小中 茶谷（早大）

▽三位決定戦

鈴木 三浦 2 (15—8, 6—15, 15—13) 1 小中 茶谷

▽決勝

折井 松口 2 (15—11, 15—9) 0 須藤 栗原

★第一ゲームは両ペアともにイージーミスが目立ちいささか内容に乏しいものとなったが、第二ゲームにはいると、ようやく決勝にふさわしい戦いとなった。そして、折井組は気迫のこもったゲーム展開で、接戦をぬけだして、見事優勝した。

▼女子ダブルス▽準決勝

西尾 秋本（日体） 2 (15—5, 11—15, 15—3) 1 佐伯 井上（日体）

石田 吉田（日女体） 2 (15—11, 15—7) 0 桝樋口 桝谷（日女体）

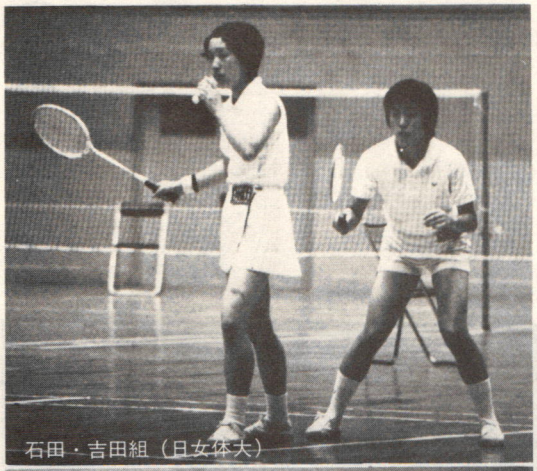
▽三位決定戦

佐伯 井上 2 (15—9, 15—7) 0 桝樋口 桝谷

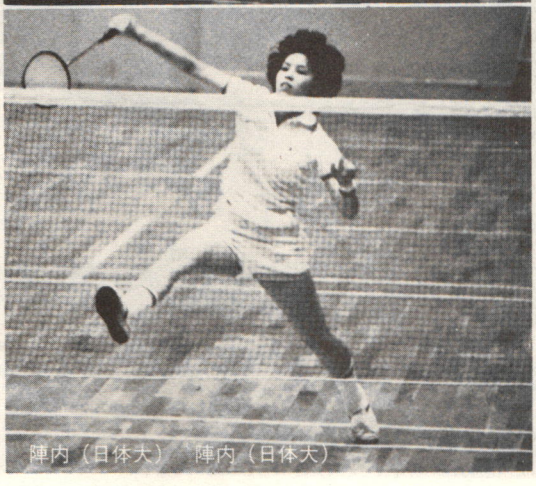
▽決勝

西尾 秋本 2 (15—10, 15—7) 0 石田 吉田

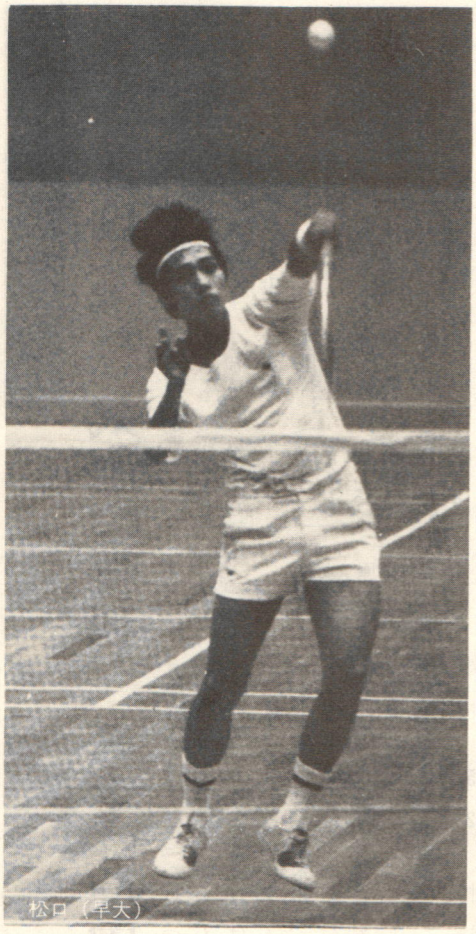
（評・関東学生連盟）



石田・吉田組（日女体大）



陣内（日体大）　陣内（日体大）



松口（早大）

第17回東日本学生選手権大会ランキング

〈男子シングルス〉

1	松口　金彦	（早　大）
2	日下　　昇	（中　大）
3	山本　茂樹	（中　大）
4	須藤　　茂	（日体大）
5	栗原　恒夫	（日体大）
6	出石　　勉	（日体大）
7	竹林　良明	（日体大）
8	堀口　昇一	（日　大）

〈女子シングルス〉

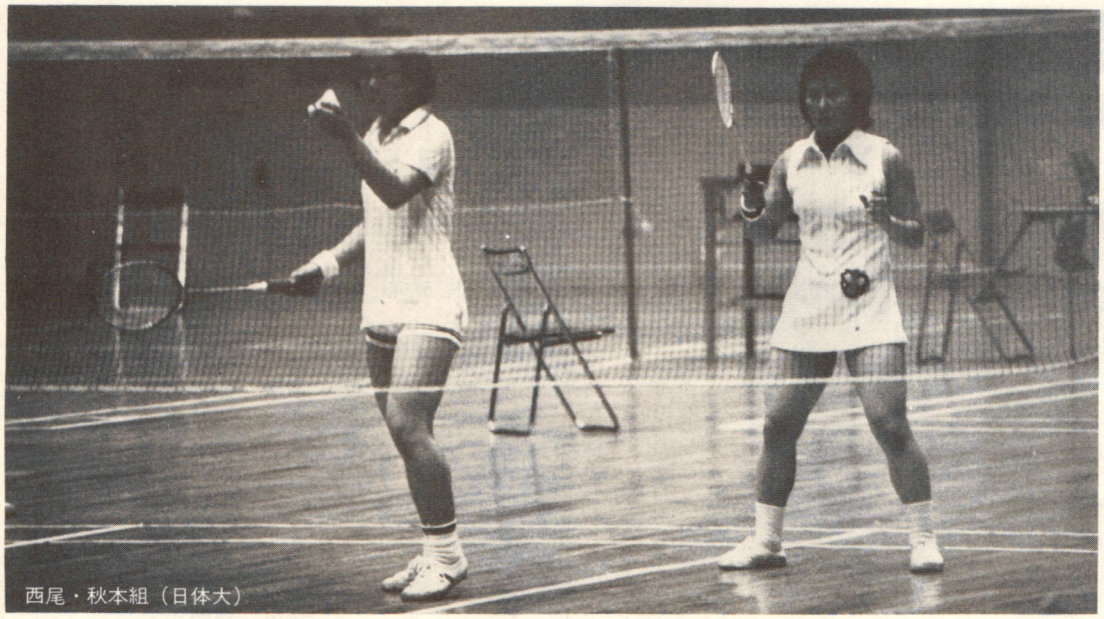
1	西尾真理子	（日体大）
2	陣内　裕子	（日体大）
3	佐伯　智子	（日体大）
4	井上　昌子	（日体大）
5	石田　雅子	（日女体）
6	桜井　誠子	（日体大）
7	高瀬　治子	（日体大）
8	日向野藤枝	（日体大）

〈男子ダブルス〉

1	折井　直則 松口　金彦	（早　大）
2	須藤　　茂 栗原　恒夫	（日体大）
3	鈴木　勝彦 三浦　　一	（東北学院）
4	小中　正道 茶谷　正美	（早　大）
5	日下　　昇 横田　泰徳	（中　大）
6	伊藤　雅博 渡辺　由夫	（東北学院）
7	高橋　信夫 橋本　則之	（東北学院）
8	笹岡　和彦 宮崎　克己	（慶　大）

〈女子ダブルス〉

1	西尾真理子 秋本八代美	（日体大）
2	石田　雅子 吉田　孝子	（日女体大）
3	佐伯　智子 井上　昌子	（日体大）
4	樋口　智子 桝谷美智子	（日体大）
5	千葉　陽子 松田美恵子	（日女体大）
6	鈴木真知子 林　寿美子	（日女体大）
7	大場三弥子 村田　嘉江	（日女体大）
8	渡辺恵理子 根本　雅江	（日女体大）



西尾・秋本組（日体大）

江口（福大）気迫の勝利、女子は徳田（四条畷）が単複に楽勝

第14回西日本学生選手権大会は去る8月19日から6日間、広島県立体育館で開催され、別表のとおり、本年度の西日本学生ランキングが決定した。

▼男子団体戦▽準決勝

福岡大 3（複2－0、単1－0）0 立命館
近畿大 3（複2－0、単1－0）0 熊本商

▽三位決定戦

立命館 3（複1－1、単2－1）2 熊本商

▽決勝

近畿大 3（複2－0、単1－1）1 福岡大

古谷島 2（18－14、15－11、10－15）1 大東米
和佐野田 2（15－9、15－9、12－5）1 江口田中
谷島 0（6－15、6－15、6－15）2 江口
和田 2（18－16、15－6）0 大東

▼女子団体戦▽準決勝

大阪樟蔭女大 3（複2－0、単1－1）1 東海女子短大
武庫川女子大 3（複2－0、単1－0）0 広島大

▽三位決定戦

東海女子短大 3（複2－0、単1－0）0 広島大

▽決勝

大阪樟蔭女大 3（複1－1、単2－0）1 武庫川女子大
村崎水島 0（5－15、8－15）2 原田野崎
狭川宮本 2（15－4、18－13）0 栗原川添
狭川 2（11－8、11－8）0 野崎
村崎 2（11－6、11－4）0 原田

▼男子ダブルス▽準決勝

工士坂本 2（15－6、12－15、18－14）1 大東米（福岡大）
宮本中村 2（7－15、15－11、15－9）1 江口田中（近大）

▽三位決定戦

江口田中 2（15－13、15－7）0 大東米

▽決勝

工士坂本 2（15－8、15－5）0 宮本中村

★工士のレシーブ力がさえわたった一戦であった。と同時に徹底的にスマッシュを打ちつづけた工士組の気力勝ちでもあった。ドライブをきれいにリターンしてチャンスをつくる工士組に対し、宮本組は、安易にチャンスボールをあげてしまい、消極的な試合内容であった。

▼女子ダブルス▽準決勝

原田野崎（武庫川）2（15－12、15－3）0 村崎水島（樟蔭）
秋本徳田（四条畷）2（15－10、15－1）0 狭川宮本（樟蔭）

▽三位決定戦

秋本徳田（四条畷）2（15－11、15－5）0 永沢

▽決勝

江口 2（15－12、15－2）0 和田

★出足は和田のペースで、ネットプレーとスマッシュを中心とするゲーム展開となったが、江口もよくがんばり、ネット前でよく攻め込み、11オールの接戦から、スマッシュ攻撃で先取。第二ゲームは、いきおいにのる江口に対し、準決勝までの動きを失い、返すのがせいいっぱいの和田は、スタミナを失い、2ポイントをあげたにとどまった。

▽決勝

秋本徳田 2（15－1、15－1）0 原田野崎
狭川宮本 2（9－15、15－10、15－4）1 村崎水島

▽三位決定戦

江口（福岡大）2（15－4、12－15、15－4）1 米永沢（福大、信州大）
和田（近大）2（15－13、12－15、15－4）1 永沢米（信州大、福大）

▽男子シングルス▽準決勝

野崎（武庫川）0（4－11、7－11）2 秋本（四条畷）
原田（武庫川）0（5－11、3－11）2 徳田（四条畷）

▽三位決定戦

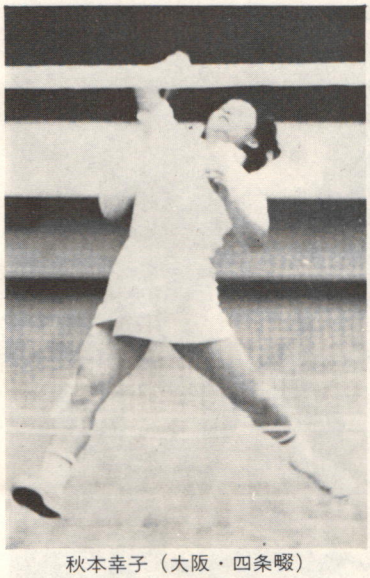
野崎 2（9－11、11－6、12－10）1 原田

▽決勝

徳田 2（11－2、11－3）0 秋本

★お互いに手の内を知りつくした二人の対戦であったため、これといった波乱もなく、アッサリと結着はついてしまった。

（評・全日本学生連盟）



秋本幸子（大阪・四条畷）

ミカサ商事

平均年令27才のヤングパワー。
(045)651-2020
●横浜市中区石川町2-84

第14回西日本学生バドミントン選手権大会ランキング

男子団体戦

優勝	近畿大学
2位	福岡大学
3位	立命館大学
4位	熊本商科大学

女子団体戦

優勝	大阪樟蔭女子大学
2位	武庫川女子大学
3位	東海女子短期大学
4位	広島大学

男子シングルス

優勝	江口　俊彦	(福岡大学)
2位	和田　泰寛	(近畿大学)
3位	米　正隆	(福岡大学)
4位	永沢　康弘	(信州大学)
5位	嶋田　哲	(同志社大)
6位	大東　歳文	(福岡大学)
7位	山下順次郎	(関西大学)
8位	工士　恭司	(熊本商大)
9位	角田　勝	(近畿大学)
10位	原　誠	(近畿大学)
11位	右西　悟	(近畿大学)
12位	宮本　宏和	(近畿大学)
13位	八木　清仁	(大阪大学)
14位	井上　晴之	(近畿大学)
15位	中山　謙吾	(福岡大学)
16位	谷島　助男	(近畿大学)

女子シングルス

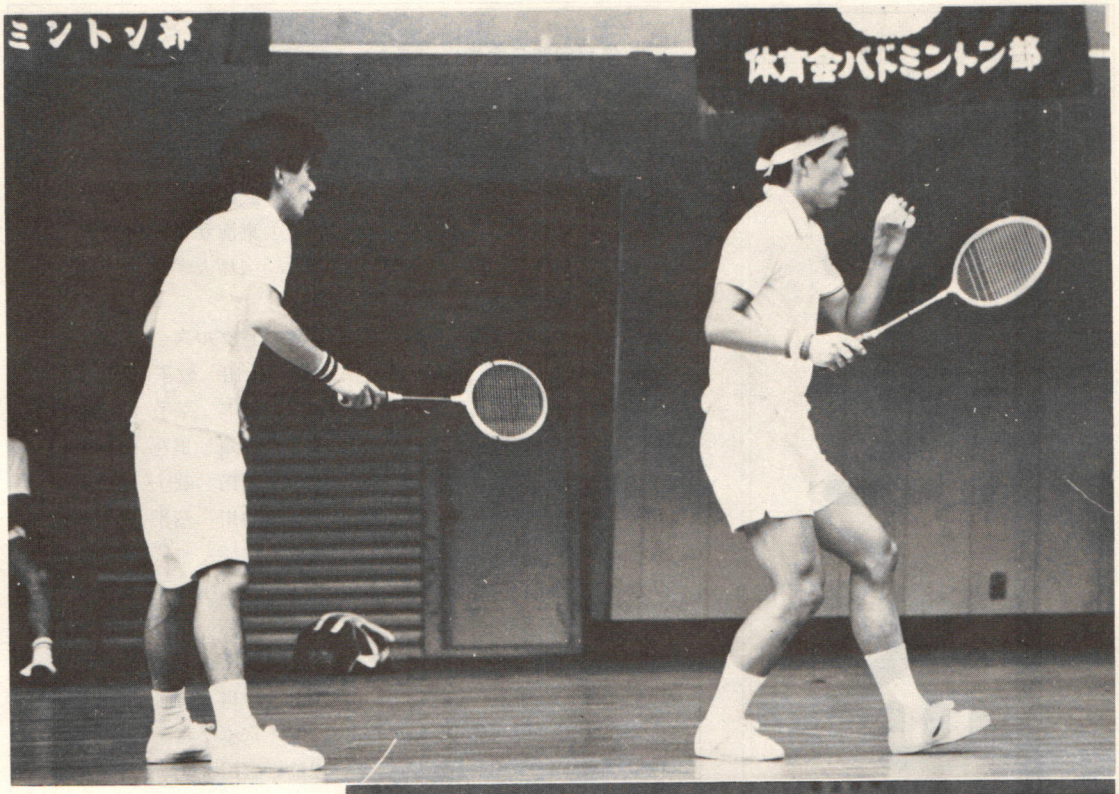
優勝	徳田　敦子	(四条畷)
2位	秋本　幸子	(四条畷)
3位	野崎　里花	(武庫川)
4位	原田　敬子	(武庫川)
5位	狭川　恭子	(大阪樟蔭)
6位	川添　雅代	(武庫川)
7位	多田由美子	(大谷女短)
8位	水島　正恵	(大阪樟蔭)
9位	富永　恵子	(福岡大学)
10位	中川　博子	(東海女短)
11位	宮本　京子	(大阪樟蔭)
12位	広田久美子	(広島大学)
13位	宮部千賀子	(熊本商大)
14位	村崎　敦美	(大阪樟蔭)
15位	庄司府佐子	(武庫川)
16位	田中　弘子	(東海女短)

男子ダブルス

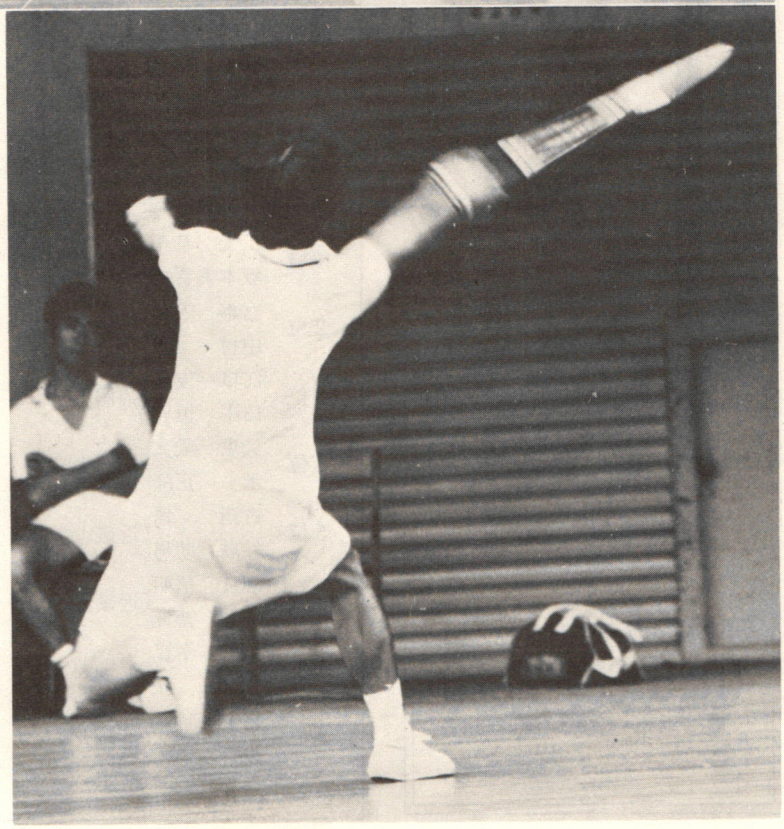
優勝	工士　恭司 坂本美喜夫	(熊本商大)
2位	宮本　宏和 中村　悟	(近畿大学)
3位	江口　俊彦 田中　恒典	(福岡大学)
4位	大東　歳文 米　正隆	(福岡大学)
5位	古西　悟 谷島　助男	(近畿大学)
6位	瀬良　信明 平瀬　博俊	(近畿大学)
7位	和田　泰寛 佐野　弘	(近畿大学)
8位	井上　晴之 佐藤　純	(近畿大学)

女子ダブルス

優勝	秋本　幸子 徳田　敦子	(四条畷)
2位	原田　敬子 野崎　里花	(武庫川)
3位	狭川　恭子 宮本　京子	(大阪樟蔭)
4位	村崎　敦美 水島　正恵	(大阪樟蔭)
5位	栗原千佳子 川添　雅代	(武庫川)
6位	大坪　礼子 藤井　妙子	(広島大学)
7位	辻井　寿枝 多田由美子	(大谷女短)
8位	酒徳千加子 庄司府佐子	(武庫川)

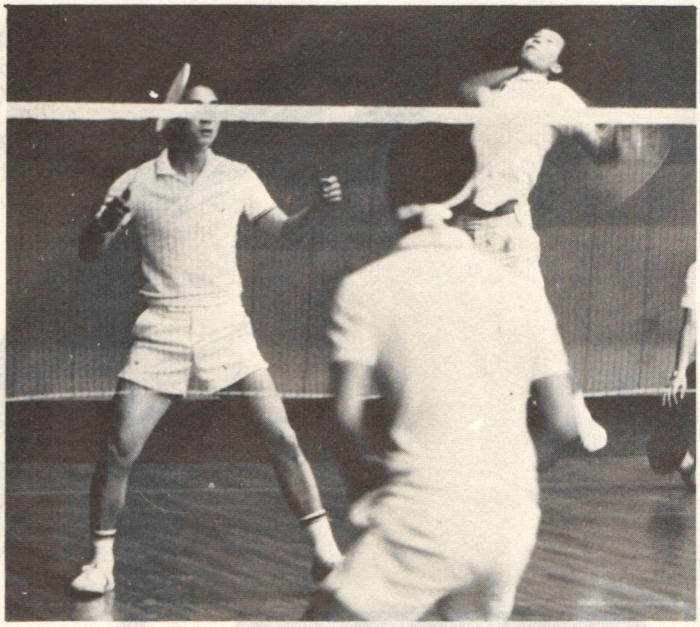


▲工士・坂本組（熊本商科大学）



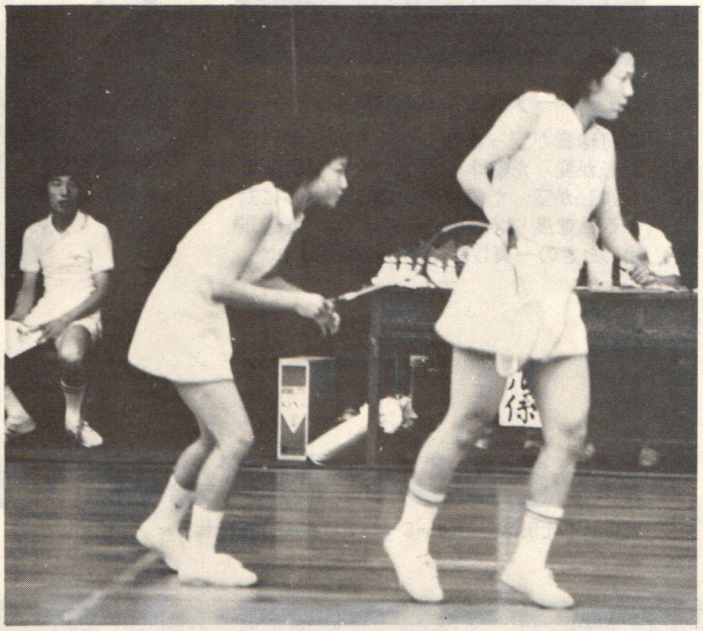
▶工士のバックハンド

テイケイ三和
平均年令27才のヤングパワー。
(045)651-2020
●横浜市中区石川町2-84



▲大東・米組（福岡大）

▼狭川・宮本組（大阪樟蔭女子大学）



カアルトン ニュートーナメント は水鳥？

ナイロンを感じさせないナイロン。

新開発された、カアルトン〝ニュートーナメント〟シャトルは、ナイロンと云うよりも英国製高級水鳥シャトルに最も類似した性能を備えた、新しいシャトルです。



ニュートーナメントの特徴

●打球音が変った●ラケットから離れる感じが変った●ネットでのターンノーバ（回転）が変った●スピン●シャトルに対する視覚度（よく見える）がよくなった●飛翔のときの一貫した安定性が増加された。

メトロレジャー株式会社

東京都千代田区外神田5-6-4 TEL. 833-3661（代）

目で見る技術講座 ① ——— M.A・ギルクス（イギリス）のスマッシュ ———

ギルクス夫人は、昨年の全英選手権優勝者で、今年も決勝で湯木選手に敗れたとはいえ、準優勝の成績をおさめたイギリスの第一人者。

長身を生かして、大上段からたたきつけるようなスマッシュを放つ。③、④で十分に体勢をととのえ、⑥でジャンプ、⑩ではホームポジションへ足を進めようとするのと同時に⑪でクリーンヒット。⑫ではスナップをきかせてフォロースルーをとる。



目で見る技術講座②

——R. ハルトノ（インドネシア）のクリアー——

いまさら言うまでもない、世界チャンピオン、ルディ・ハルトノ選手のクリアー。

しなやかな体を生かして、軽いひねりを加えたフォームは独特で、バランスをくずすことの少ないものである。



目で見る技術講座③ ——— R. ハルトノ（インドネシア）のスマッシュ ———

これを角度を変えてとらえたハルトノのスマッシュ。

すばやく落下点にはいり、十分な体勢からコートを蹴ってジャンプ（⑤〜⑥）。そして、相手のバックコートをめがけて強烈なクロススマッシュ。

リストを十分にきかせているのが⑨、⑩でよくわかる。

フォロースルーにはいっても目はシャトルから一時も離れていない。

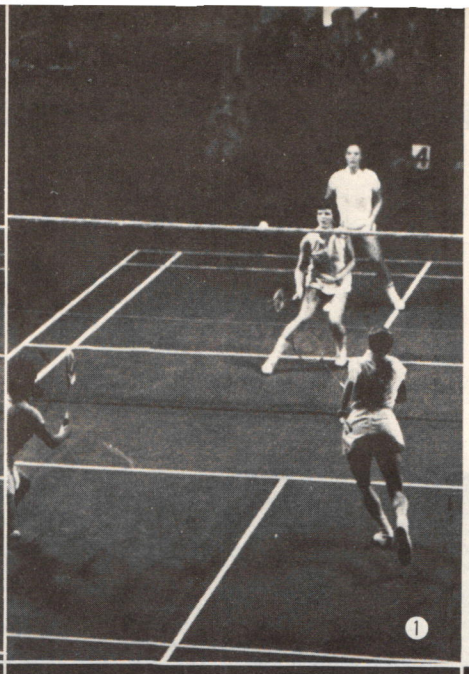


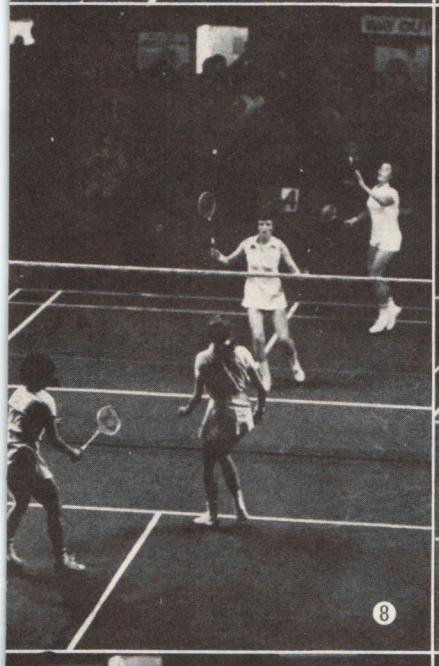
目で見る技術講座 ④

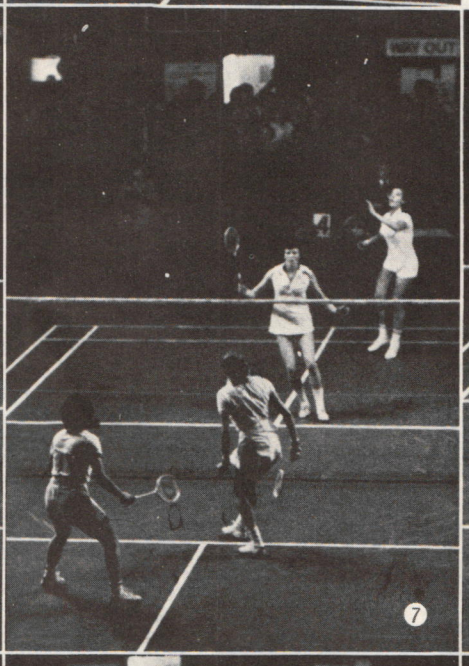
カガード(デンマーク)×ギルクス(イギリス)
ストランド(デンマーク)×ベック(イギリス)

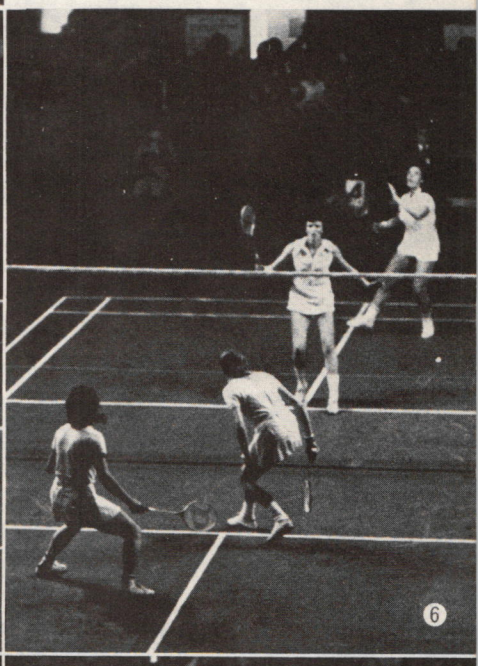
上がデンマークペアである。前衛カガードがヘアピンを落とすと、ギルクスが思い切って体を伸ばしクリアで逃げる(④)。そしてイギリスペアはサイド・バイ・サイドの守りの陣をとる。ストランドのスマッシュに対してギルクスは中央攻撃を予測し、すでにバックハンドのかまえにはいっている。(⑩〜⑬)。結果はギルクスの予測どおり、中央へきた。デンマークのカガードの動きに注目してほしい。

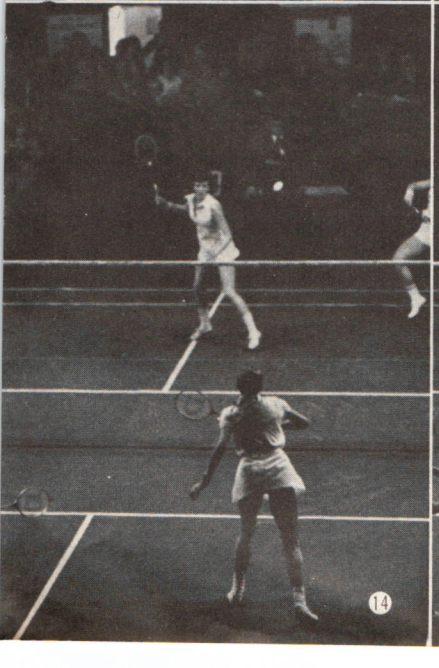


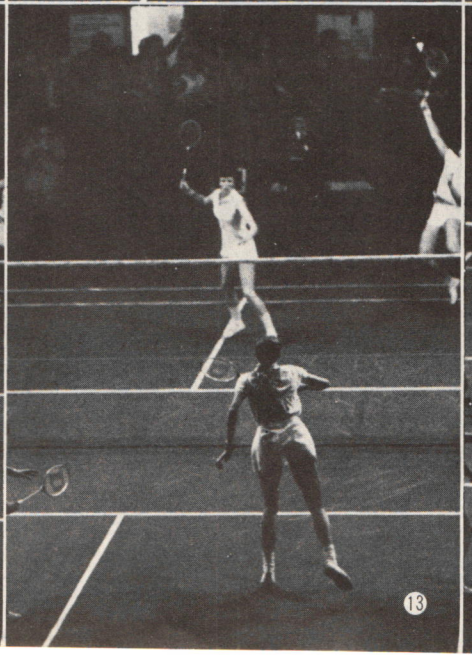


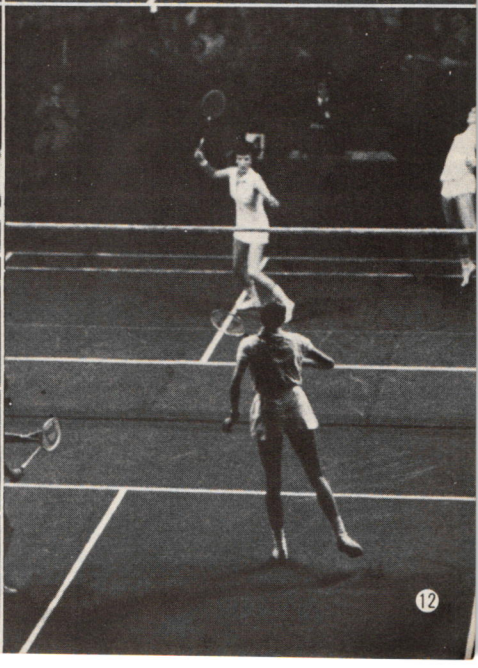


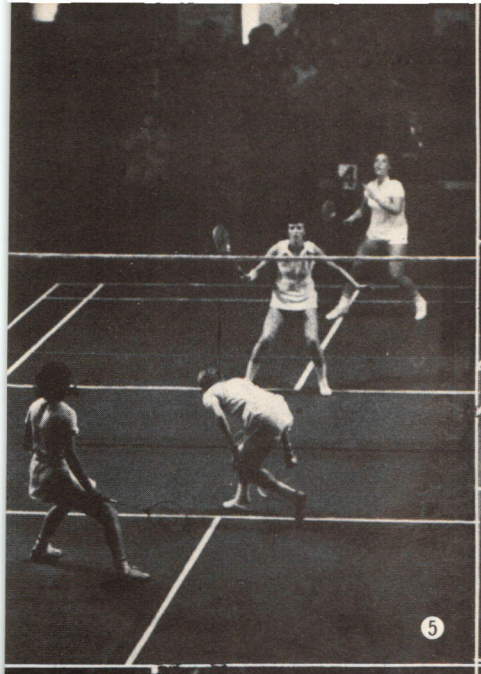


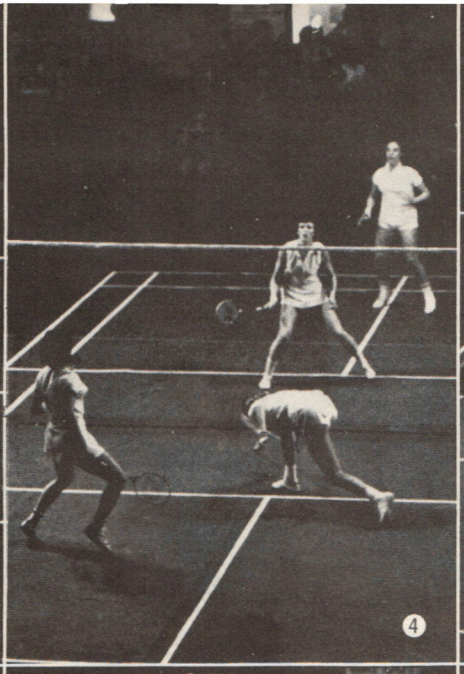


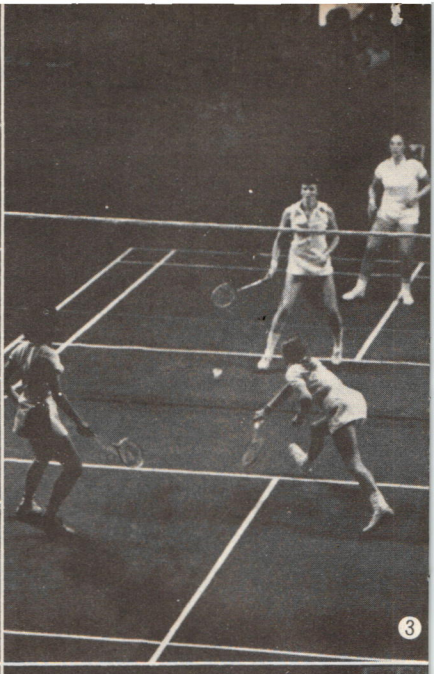


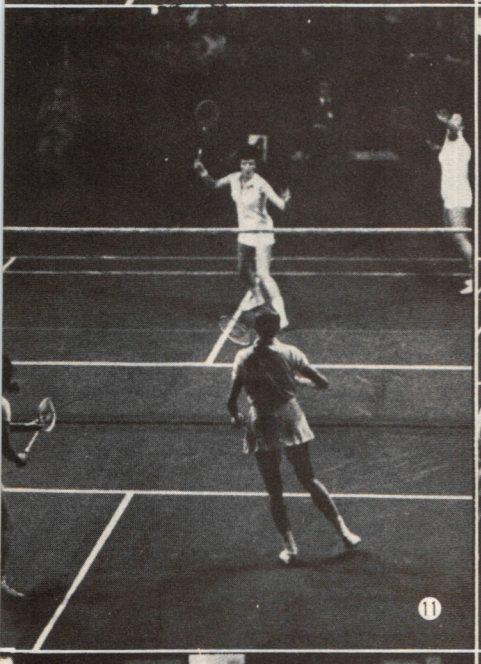


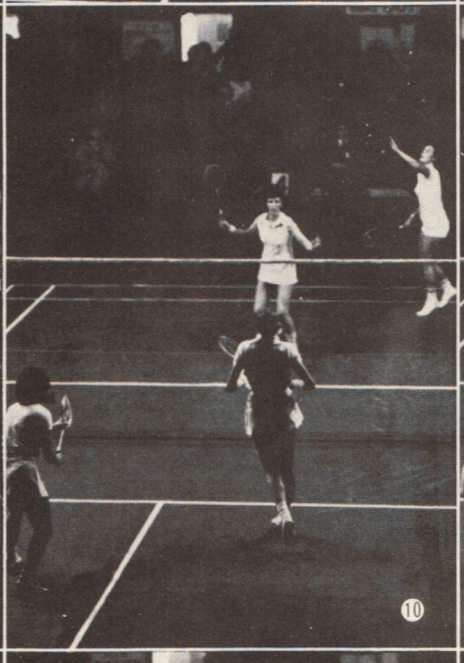


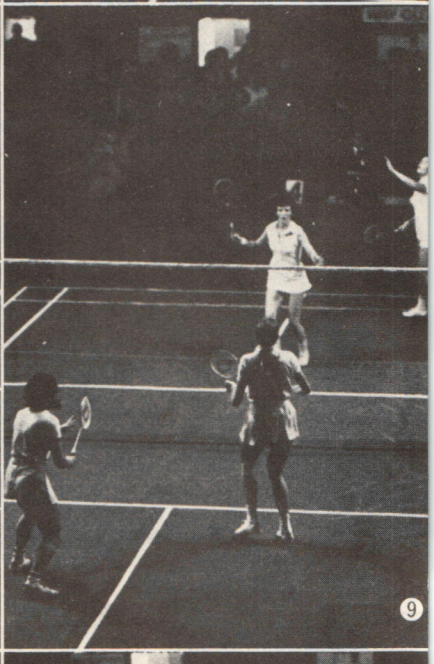

5

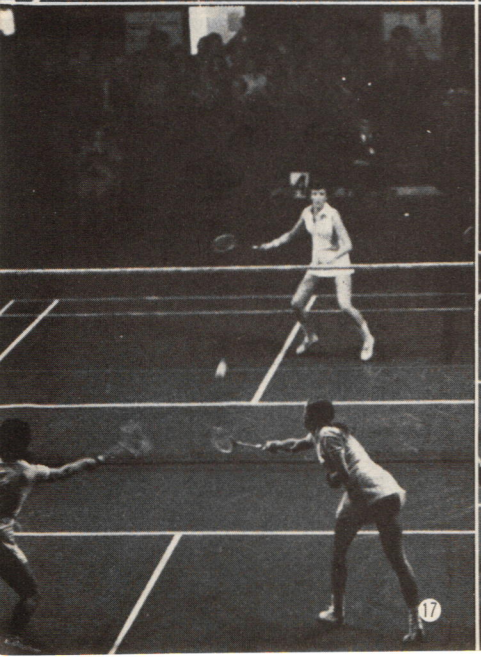

4

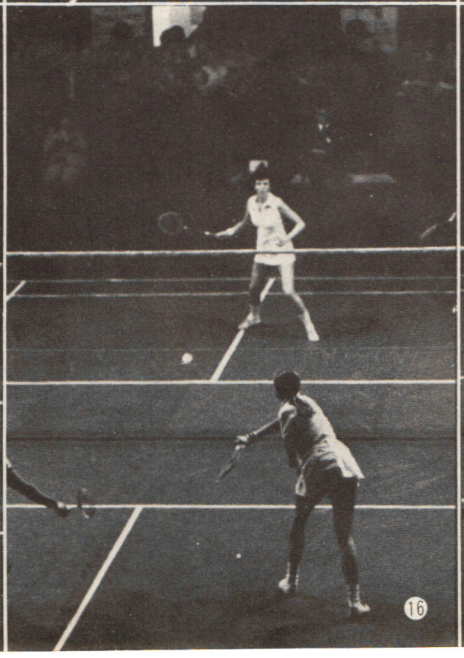

3

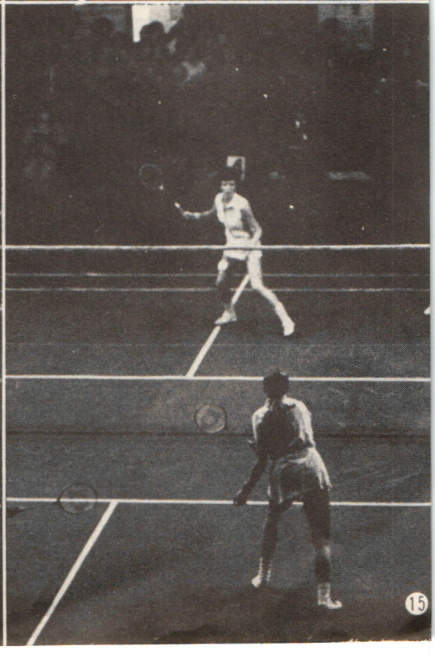

11


10


9


17


16

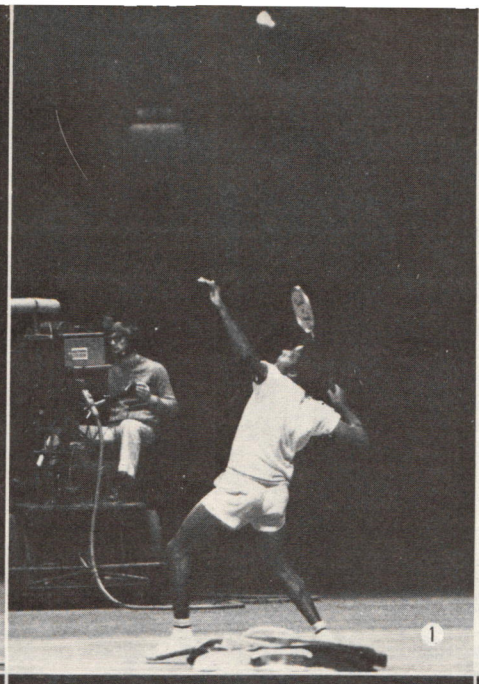

15

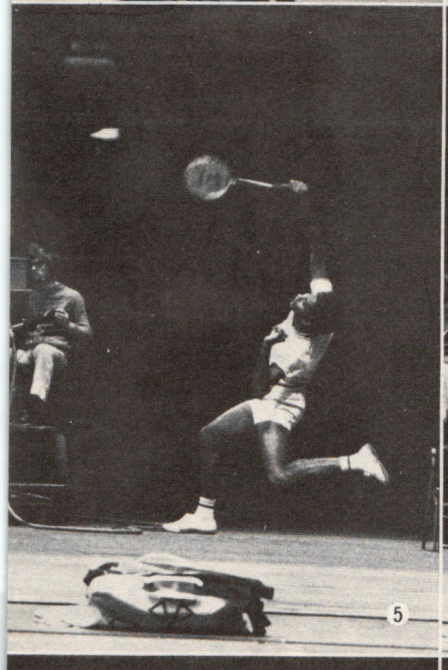
目で見る技術講座 ⑤

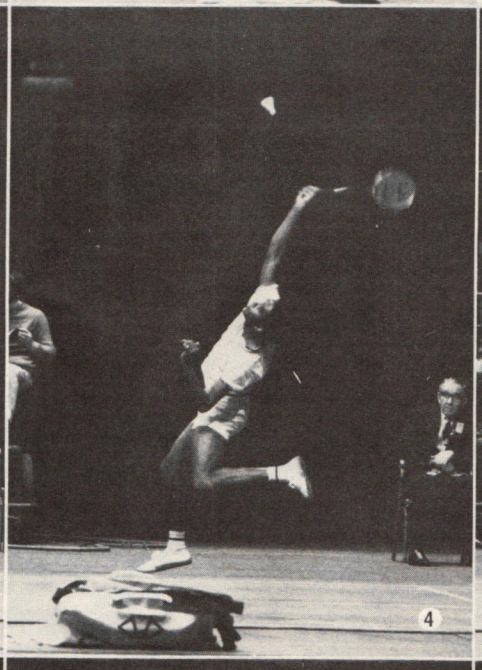
P・グナランのプッシュ

全英選手権シングルス決勝で、ハルトノを大いにおびやかしたグナランの豪快なフォーム。わずかに自分の体より後に来たシャトルに対し、十分なそりを加えてふりかぶる（②）。そしてジャンプしながら強引に打ちおろしていく（④～⑤）。⑥ではスティール製の軽量ラケットが折れんばかりにしなっているのがよくわかる。フォームそのものは決してきれいとは言えないが、自分の体力、特徴を知ったうえでの独特のものである。



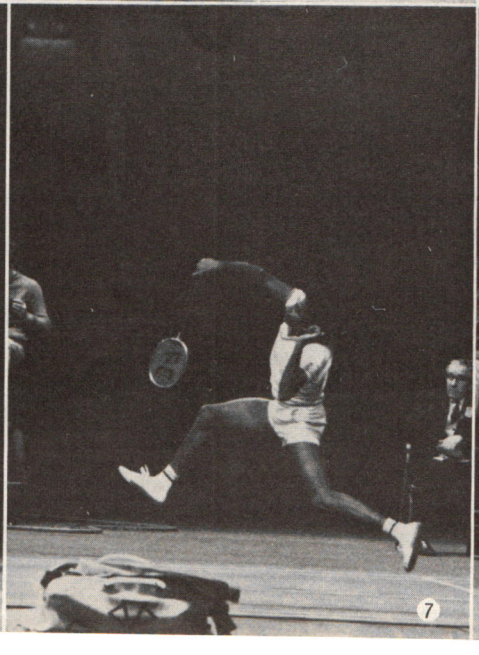


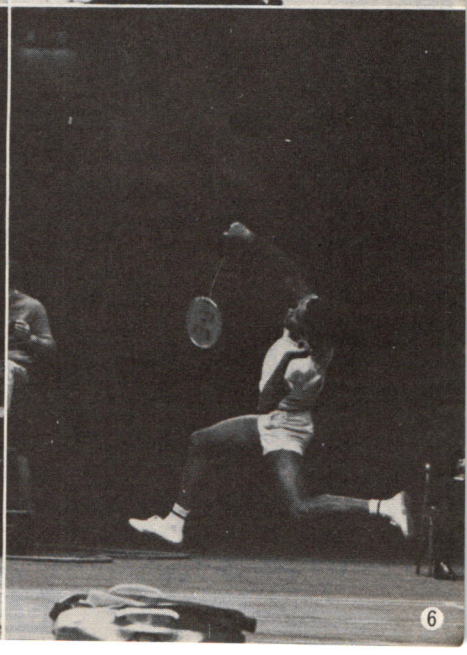








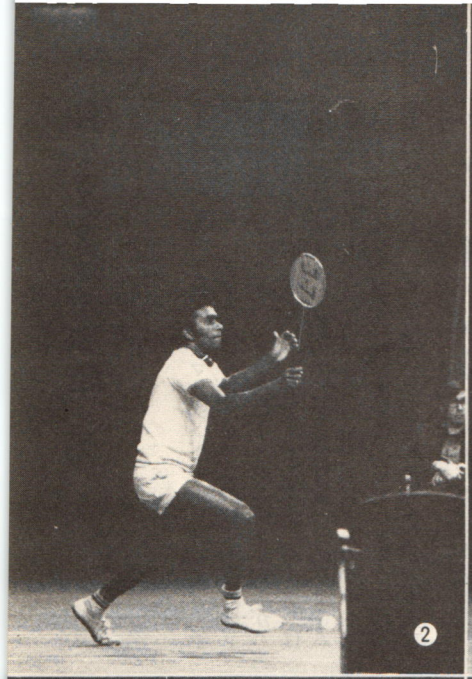


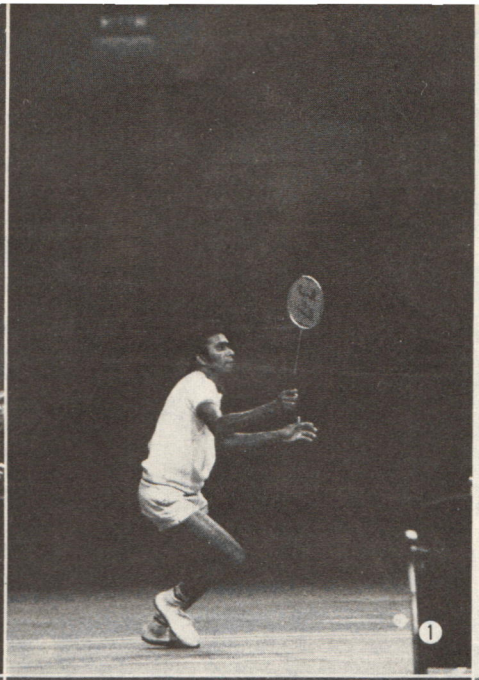


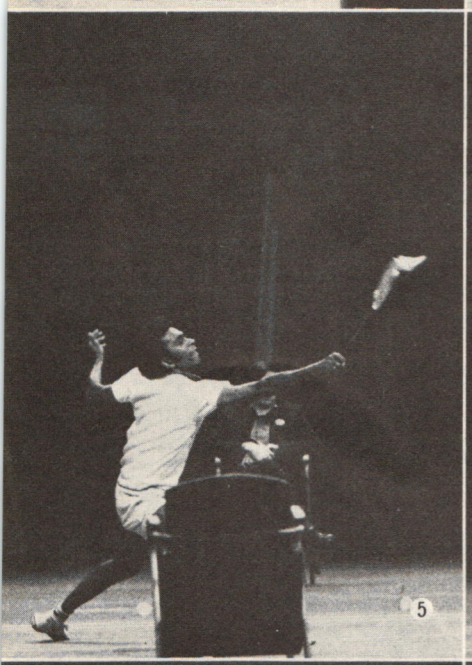
目で見る技術講座 ⑥

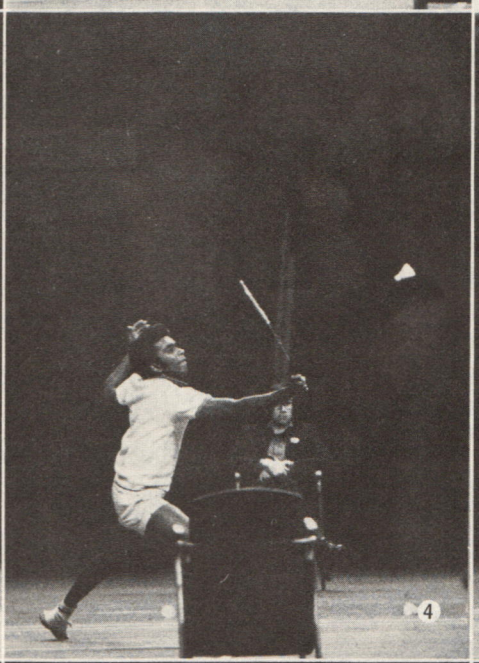
P・グナラン(マレーシア)のスマッシュ

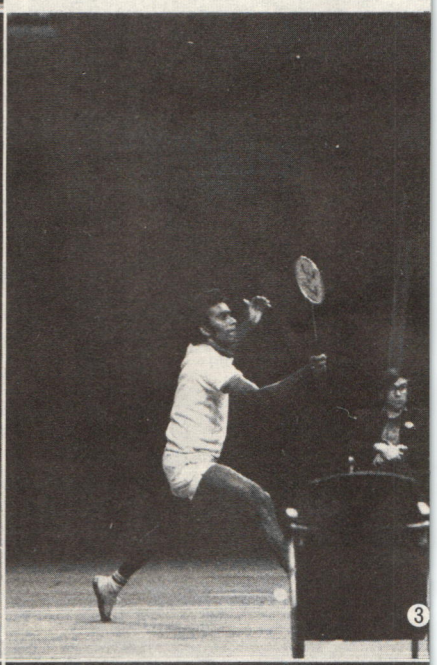
反対側のアングルからとらえたグナランのプッシュ。少し腰がひけてないともいえないが、シングルスにおけるプレーであるからやむをえない。しかしヒットの瞬間はひじも伸び打点も高い(⑤)。コートサイドにはグナランの強烈なスマッシュでつぶれたシャトルがころがっている。













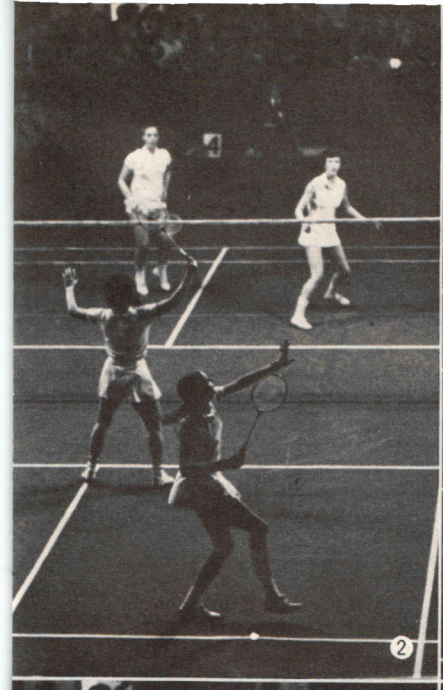


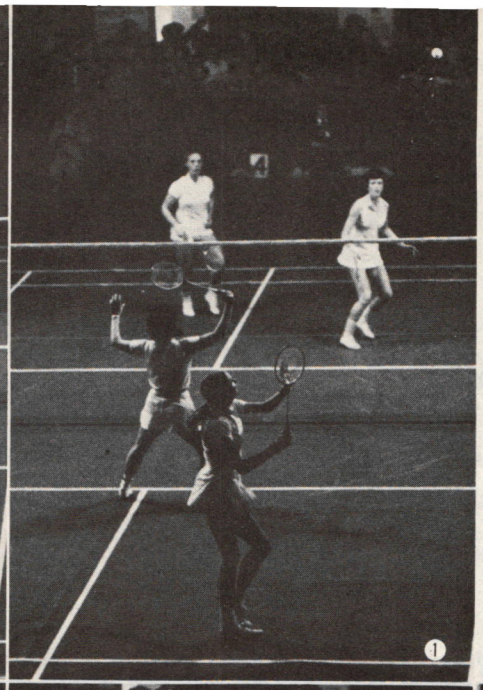


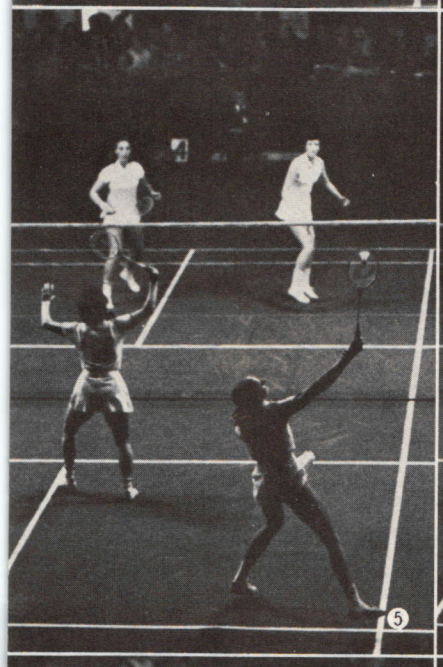
目で見る技術講座 ⑦

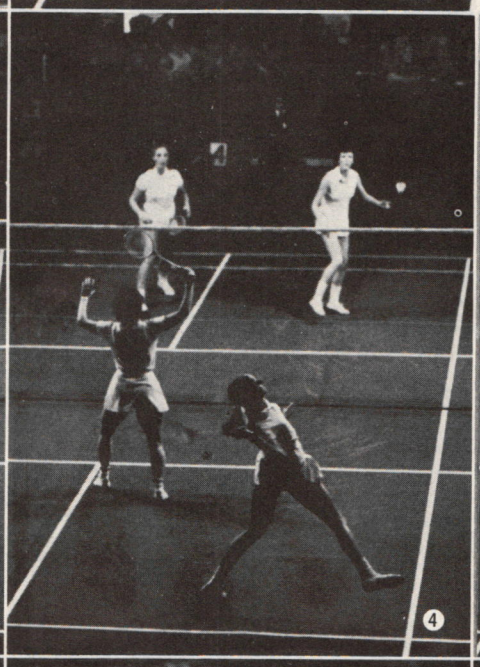
カガード×ギルクス
ストランド×ベック

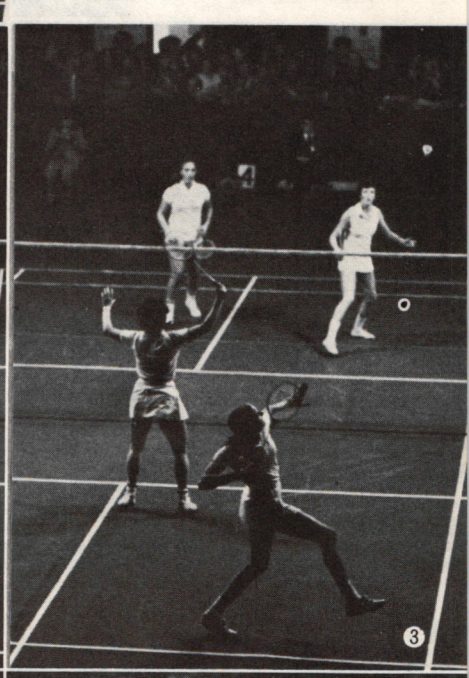
さきほどは、ストランドのスマッシュがギルクスによって予測されてしまったプレーを紹介したが、これはその反対のプレーである。ギルクスのフォア側にチャンスボールが上がった。上げたのは向う側右にいるカガードである。ギルクスは大きく右足を踏み込んで全力でたたきつける。このフォームを見て、カガードは自分のバックハンド（コートのサイド）へのスマッシュを予測し待ちかまえる。しかしギルクスは、相手の逆をつき、わずかにラケットを巻き込みながら中央攻撃でカガードのフォアサイドをねらった。

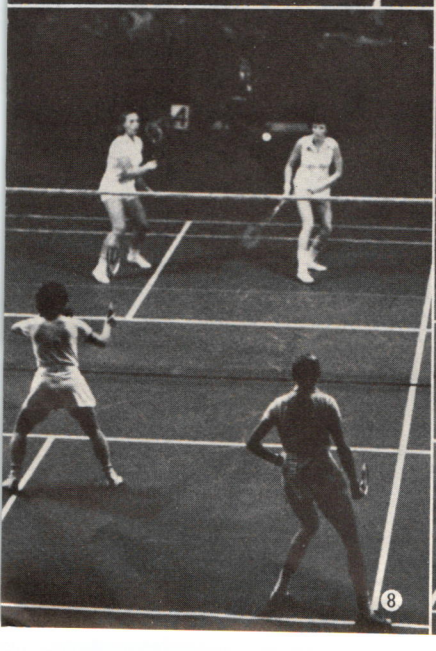


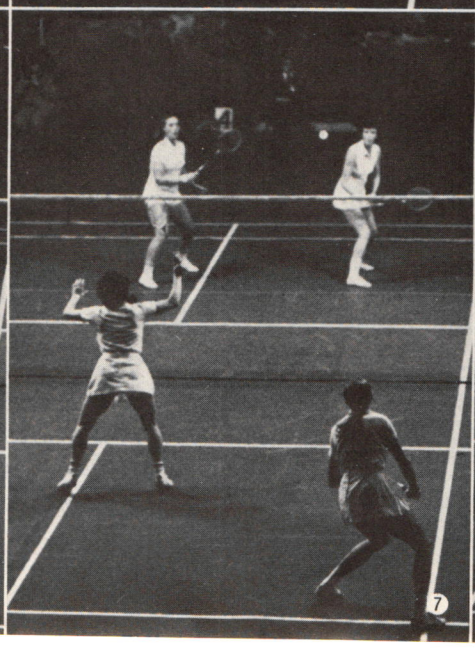


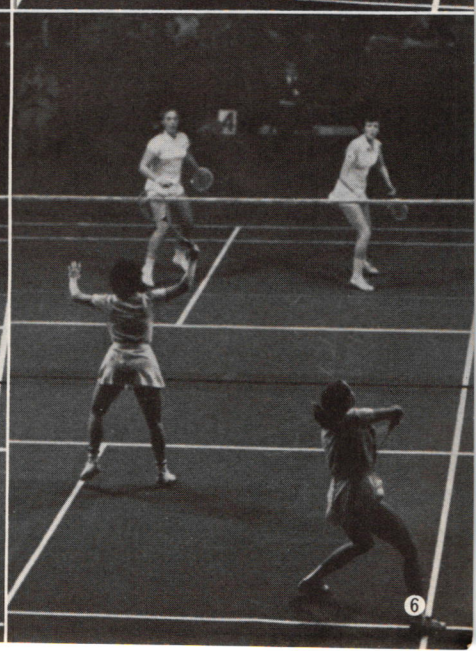












手応え確か。

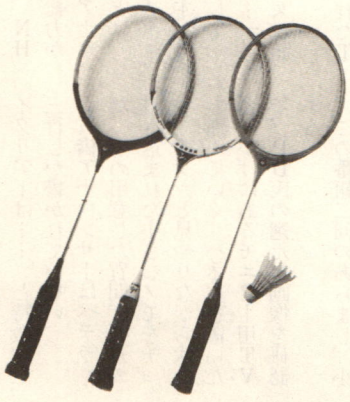
ゴーセンバドミントンラケット



白いシャトルコック目がけて力いっぱいふりおろす——インパクトの瞬間に感じる勝利の手応え！

ゴーセンのバドミントンラケットはまさにあなたの腕の延長。はじきの良さと軽やかさ——これがゴーセンバドミントンラケットの特長です。

その他、シャトルコック・ウエアも数多く用意しています。お求めは全国有名デパート・スポーツ店でどうぞ。



GOSEN RACKET
FOR BADMINTON

株式会社ゴーセン

本　社 ■ 大阪市東区豊後町4　☎(06)942-5816(代)
東京支店 ■ 東京都台東区鳥越1-26-1 ☎(03)862-6576(代)

連載●第六回

ビギナーへの手紙

テレビスポーツ教室うらばなし

■羽戸民敦

その一　舞台裏

晴れていれば、初夏の太陽の輝きと、涼を呼ぶ風の恋しい季節なのに、梅雨のひとしきり降り始めた雨の中を、閉めきったバスにゆられて、NHK－TVスポーツ教室「バドミントン・第一回」の録画の現場、日本体育大学へ足を運んだ。

整地中のグラウンドを右に見て第三体育館に入ると、この番組製作の総指揮者プログラム・ディレクター氏（以下略してPD氏）が暖かく迎えて下さる。

一時からビデオ撮りの予定というのに、十二時をまわる頃には、バドのコート二面が「に」の字型に画かれたフロアーでは、十人を越す技師、裏方が、TVカメラ三台をすでに運び込み会場作りに大わらわである。

やがて、今日出演の高校生八人と顧問の先生方が着く。インターハイ出場を決めた神奈川の逗子開成高校と、東京の巣鴨女子高校の選手たちだ。

丸太のようにまかれて運び込まれたコートマットが、にぎやかになった体育館のほぼ中央奥に、大学生を頭に男子八人の手足で慎重に敷かれる。

全ヨーロッパ、日中戦などでおなじみの、年期の入ったあのグリーンのマットだ。女子選手は、それを固定するガムテープに、緑のマジックを塗って、TV効果を出すのに忙しい。

十二時四〇分。指導される小島一平氏登場。白地にブルーの縦じま三本のウェアが眼に泌む。

小島氏とP・D氏、そして高校生との簡単な打合せ。そして準備体操に入る。ひざの屈伸、アキレス腱、腹筋、背筋、二人一組になって調子を整える。誰と誰がダブルスを組むのかすぐ判る。ハダカ（？）のつきあいから良いコンビが生れるのだろう。

その二　リハーサル

一時四十五分、リハーサルが始まる。この番組の担当、NHK運動番組班八二六四の総力がスタートするのだ。石橋アナウンサーの流れるようなことば、「皆さん今日は。テレビスポーツ教室の時間でございます。今週と来週の二回に分けましてバドミントンの勉強を……」と本番さながらのアナウンスが始まる。

体育館前に横付けにされたTVカーの中では三台のカメラから送られてくる映像をにらんでいるP・D氏は、できあがりを頭に画きながら指示を出す。何しろ、この後の本番、即修正、編集なしの生放送となるのだから。責任者の気持もわかるというものだ。

ピンクの半袖開衿の良く似合う堂々たる体格のフロアーディレクター氏（FD氏）は「ハイクリアーを打って」、「はい！次、代って、ドリブンクリアーを」と大きなゼスチュアと小さな声で呼びかける。

TVカメラマン氏は慣れたもので。台本に従って、右に左に二人の助手の力を借りながらカメラを動かしていく。台本といっても極めて簡単、厚さは三センチあるだろうか、ページの上段には、コート「ハイクリアー」、パネル「ハイクリアー、ドリブンクリアー」、下段には「ハイクリアーは……」と特徴が二、三行しか書かれていない。

石橋アナウンサーはベテランだ。予め用意した質問、要点の書き込まれた小さなメモをチョッ、チョッと見やりながら次々と進めていく。パネルを置いた台のかげにあるモニター用TVで、PD氏の選んだ画像を確認する。

この番組二回のあらまし、小島一平氏の紹介、バドミントン競技の特徴。ラケットの握り方。いろいろなフライトの説明と続く。FD氏は、PD氏からの連絡をイヤホンで聞きながら、初体験の高校生が戸惑わないように細かい指示を与えるのに忙しい。

二時五〇分、リハーサルは、一通りの内容を終了。暫時休憩。

リハーサルの途中から天井上

の道場では（この体育館は外見三階になっていて、一、二階はバド、卓球用、三階つまり二階にあたる）クラブ活動の剣道の練習が始められた。その勇ましい動きが録画現場へビンビン伝わってくる。

時々響く太鼓の音、あい間を利用して覗きにいくと百人以上の若者が袴姿もりりしく今やたけなわである。

事情を聞きに行ったPD氏の話では、六時まで終らないとのこと。ひと休みした小島氏は高校生たちに、「クリアーやヘアピンを打つ時もっときちんとホームポジションに帰って」と。

「ふだん学校での練習のように声を出して。それからサービスの判定のゼスチュアは大きくハッキリ分るように」とFD氏も口を添える。

その三　本番そして学習

「今三時四分です。十分から本番に入ります。」PD氏のきびしい声、一服していた十人のスタッフにプロとして意識が高まる。「さあ、いこう」「五十秒前」「四〇秒前」……全員の中心に立ったFD氏は右手のストップウォッチから目を離さない。刻一刻、張りつめた空気が場内に満ちる。いよいよ本番開始だ。

しばらくの沈黙を破って、石橋アナの声がリハーサルと同じように流れる。「皆さん今日は。……今日は日本体育大学の体育館からの中継でございます。丁度この体育館の上には剣道の道場がありまして、えー、今剣道の練習が激しく行なわれておりますが、その下のコートで、バドミントン競技を皆さんに紹介していきたいと思います。指導して下さいますのは小島一平さんです。小島さんは去年の全日本チャンピオン、そして、過去七回も全日本チャンピオンになっているという日本を代表するバドミントン選手でいらっしゃいます。……」

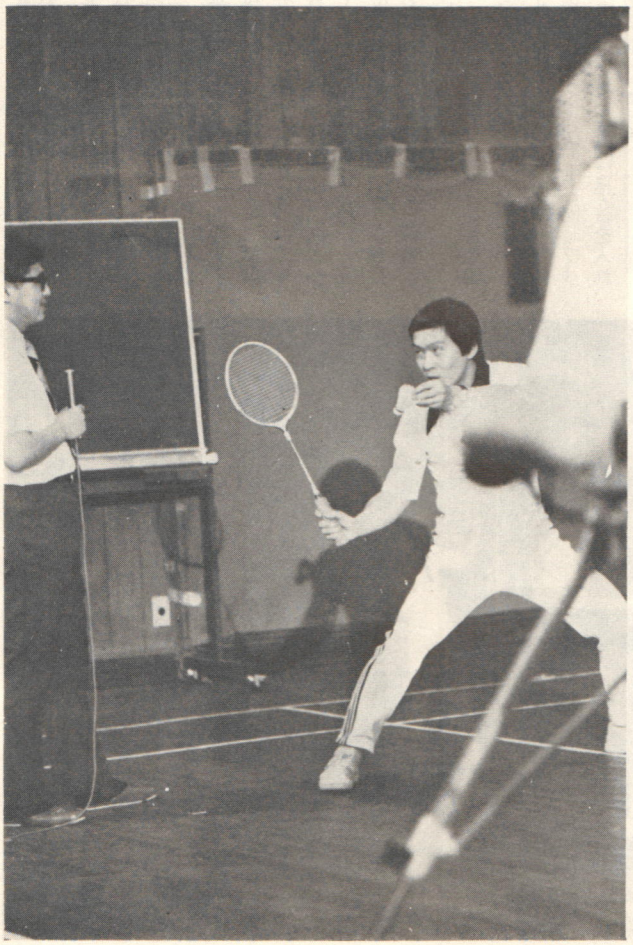
と話す声も途絶え勝ちな程二階の練習はすさまじい。マイナス50dBの微かな音も捉えるという二台の集音器には、さぞかし大きく響いていることだろう。

特設コートでは、高ぶる気持を押えながら男子四人が、半面シングルで前後に軽い足さばきを見せている。大学生といっても良い位立派な体格だ。

小島氏は、二回の放送のあらましと、バドミントン競技の三原則、「より高く、より速く、より前で」を詳しく説明され、最初はちょっと苦しいが有用度の高いイースタングリップを強調する。

ハイクリアー　この間に、コートは女子に替る。ハイクリアーで始まり、ハイクリアーで終るといわれるストロークだ。昨年の全国中学生大会で決勝まで無敗を続けたA嬢を相手に、がっしりした体格のB嬢がきれいなフォームで打ち続ける。小島氏の指導を許す限り拾ってみよう。

「攻撃の時に用いない。あくまで守備というか、追い込まれた時に用いる。不利な体勢になった時に使う」



「エンドラインぎりぎりにいかないと――浅いと――次は打たれて決められてしまう。どのような体勢になっても、打ちにくい所に来てもコントロールを良く」

「滞在時間が長いので（五往復で十五秒位の速さだったろうか）ホームポジションへ戻れる時間が作れる。打った後、前へ出る」

「練習の時からアウトと思った球は選球する。身体で憶える」

「打った後、すぐラケットをあげることが望ましい」

「浅い球は力を押えて打つ。力を加減してコントロールをつけること」

「中・高校生は真中でも良いから、バックバウンダリーラインギリギリ返すこと。初めはサイドギリギリはむずかしい。技術が向上してから左右に相手を動かす」

初心者（ビギナー）にとって珠玉の名言が次々と飛び出す。しかし残念ながらコートの二嬢には小島氏の声は届かない。五分、六分と経つうちに、チラッ、チラッとFD氏の方を見るのは、

余裕からなのか、まだ終らないのかなーという乙女心（？）なのだろうか。

フロアーの中央近くに備えられたカメラはある時は隅の方まで移動され、いろいろな角度からフォームを克明に追い続ける。太いコードをひきずっているので三人がかりのお、仕事だ。

天井は意外と低い。時々ぶっつけてしまう。次のドリブンクリアーとの違いを出すのに苦労しているのじゃないだろうか。壁の白さで、シャトルが見にくいのではないだろうか。そんな心配が筆者の頭をかすめていく。

ドリブンクリアー　七、八分もたったろうか、ドリブンクリアーに移る。男子二人が五往復で十二秒位のスピードで打ち合う。

「高さが低いから一つ間違うと相手に飛びつかれて前へ落とされる。相手の身長も考えて追いつめる」

「速く帰ってくるので動きを速くする。打った後、すぐ前へ出る」

「できるだけクロスに打つことを心掛ける」

「ハイクリアーと違って、フォームを小さく鋭くする。すぐ体勢を整える」

ときめ細かい指導が続く。コートの二人はほんとうにキビキビ動く。中学生を見慣れた筆者は息をのむ程だ。

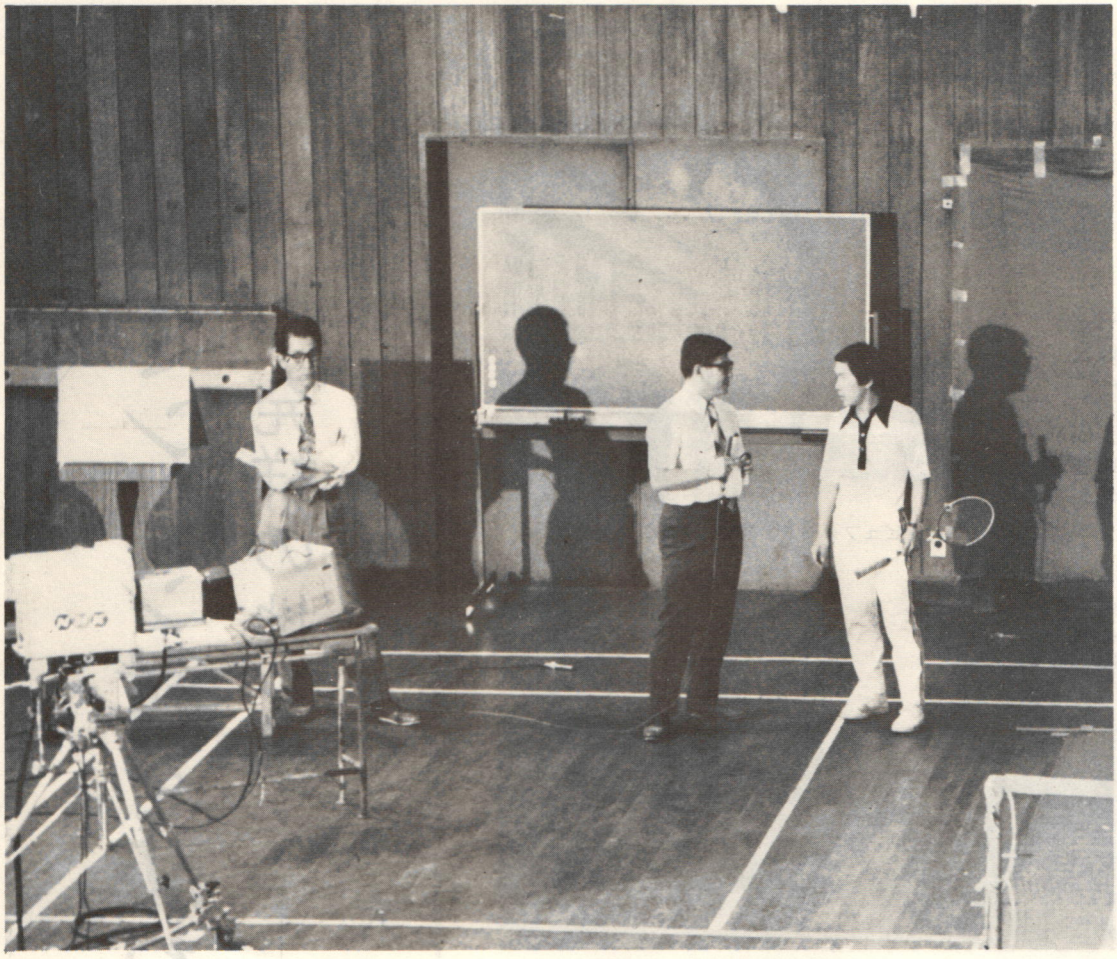
次は**ドロップショット**だ。選手交替。これは仲々難しい。ネットにひっかけたり、高く浮きあがってしまったり、球足が伸びたりする。そのへんの詳しい説明が続く。

「ストロークとしては相手を前後に動かすこと（中・高校生の場合）。クロスに動かすことは非常にコントロールがつけにくい。難しい」（確かにそうだ。ストレートと比較した場合、約一・三倍の飛行距離に同じような飛行を与えるには、きびしい練習がいるのだろう。）

「手首の操作――上ってきた球を高い打点でかぶせる。シャトルを打つまでは、ハイクリアーやドリブンクリアーと同じフォームで、打つ瞬間に手首を入れ







る」

「ラケットは始めから、球の来る前からあげていて、大ぶりしないで……。男子はジャンプして……」

「レシーブする側は、とったらすぐ体勢を立て直す」

「ネットインは非常にとりづらい。殆んどきまる。練習の時、なるたけ、ネットイン位の気持で厳しく」

ここで女子二人は男子二人と入れ替る。**カット**だ。ドロップショットより更に難しい。まっすぐ打つのではなく、クロスに振っている。時々きれいにジャンプして打つ。ジャンプは中国選手がシングルスでも良く見せたものだが、脚力、バランス、そして勘、身体で憶えるのには長い努力がいる。

「高い打点で打つ程良い。ストレートにスマッシュを打つ気持で構える。身体を打つ方向に向けない。相手に見破られてしまう。打った瞬間手首をクロスに入れる。持っていく」

そしてバックサイドからクロスに打つ高度なカットを、身振り手振りで指導していく。

そして、**ドライブ**。天井からふれ太鼓の音がひときわ高く聞える。剣道の練習も終りに近づいたようだ。

こちらはいよいよ佳境に入る。スマッシュだ。オールスマッシュ、オールドライブの、ノックの雨ならぬ打ち込みも実演される。レシーブ側が主体となるプッシュ。相手が前にいる時は十センチ以上あがれば叩かれるというヘアピン。練習を真剣にやらないと身につかない、と戒める。最後に**サービス**。

時計の針は知らぬ間に四時を過ぎた。フロアーを忙がしく動きまわっていたFD氏は、右手を大きくゆっくりまわす。手で「二分」と書いた紙を示しながら。アナ氏、気が付いたか知らずか、たんたんと続ける。「一分」……「三〇秒」

「……今日は基本のストロークとして、バドミントンのこの八つのストロークを小島一平さんの指導で勉強した訳です。来週はこの基本をもとにして、実際の試合、実戦を見ながら、試合のかけひきとか、基本ストロークの試合における使い方、そういったものを皆さんに勉強して頂くことになっております。今日は日本体育大学の……」

しばらくの沈黙。

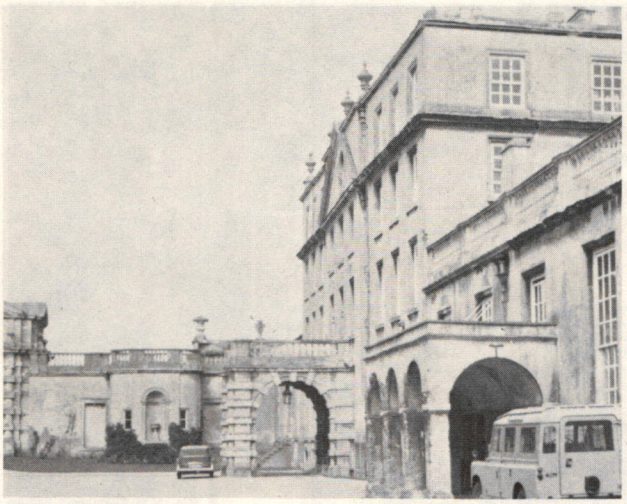
グリーンのコートでは、未来に羽ばたく乙女たちの美しい踊りが前に後に繰り展げられ、静かになった体育館には、クリアーを打つあの力強い音だけが快く私の耳に響き続けるのだった。

◇読者寄稿◇

バドミントン村を訪ねて

――発祥の地を歩く――

大森幸衛



バドミントン村・ビュフォード侯爵邸　バスの街中で



この春、ある雑誌上で、数名の方々が、バドミントン競技の発祥の地といわれている英国のバドミントン村を訪ねた記事を拝見しました。

私も、かねがね一度行ってみたいと考えておりましたので、非常に結構なことと喜んだ次第です。

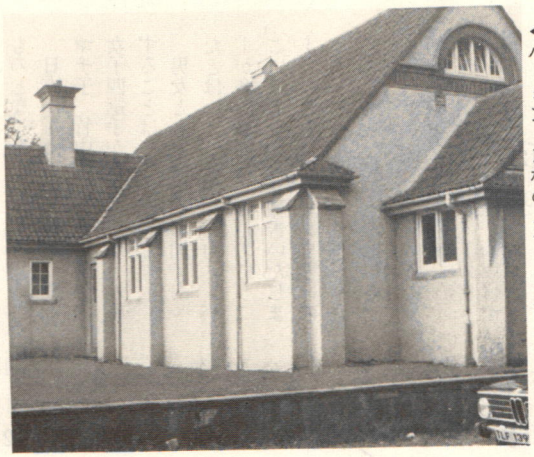
そのわけは後述致しますが、歴史的なものに特に興味を持ったからではなく、バドミントンのコートの広さがどのようにして決定されたか、何か参考となる資料が得られるのではないかという期待からでした。

ところが、九月初旬、英国政府の招待で急にロンドンに行く機会に恵まれましたので、早速休日に大使館の方とバドミントン村にでかけることにしました。

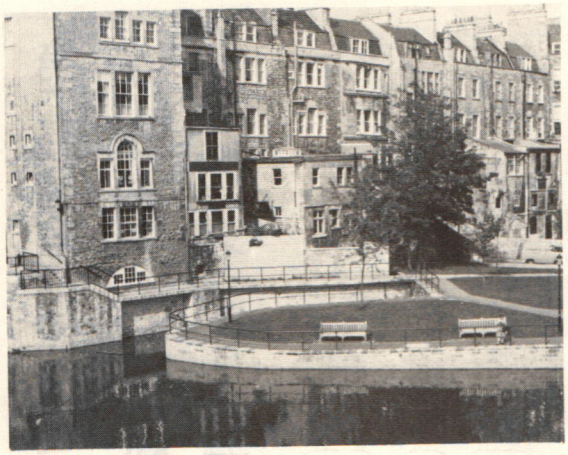
以前に、『シャトルコックの飛行』について調べているうちに、シャトルコックの最大飛距離とコートの長さが同じくらいであることや、過酷な選手の動きの例として、シングルスの競技の場合、ネットぎりぎりに飛来したシャトルコック（ヘアピン）を打ち返し（ハイクリア）たとして、次に相手選手からコートの奥深く打込まれた（クリア）とすれば、このシャトルコックを打ち返すために必要な所要時間は、ヘアピンを打ち返したときから起算して約二・五～三秒近くかかり、鍛錬すれば体力的に取ることが出来ること等、スポーツとしてなかなか良く出来ていることがわかりました。

もし、シャトルコックの空気抵抗を半分にすると（逆比例して）良く飛ぶので、コートを大きくする必要があります。しかし、着地までの時間はあまり変わりないので超人的な競技となりますし、反対に空気抵抗を倍にすれば減速が大きく、誰がやってもシャトルコックの速度はすぐ一様となって、スポーツとしての技倆や、体力の向上の必要性がなくなってしまいます。

そこで、このコートの大きさをどのようにして決めたのだろうか？と考えるようになりまし



◀バドミントン村のメモリアル・ホール



▶バスの家なみ





◀バスの流れ

シャトルコックの羽根もいろいろと改造したのではなかろうか等と想像しながら、バドミントン村を訪ねました。

変わりやすい天気の中を西に車で一五〇キロメートル程走り、西イングランド特有の白い石を積み上げた古い美しい家の立ち並ぶ村や町を通って、バドミントン村に着きました。

古いたたずまいのビュフォード侯爵邸があり、そのまわりに農業関係の人々の住まいが続いている静かな部落でした。

なにしろ、人に全然会わないので、捜すのにひと苦労しました。やっと侯爵邸に着いてベルを押すと、一人の年老いた農夫らしい人が出て来ましたが、競技のことや、その歴史的なことについての知識もあまりなく、現在村のメモリアルホール（第一次大戦の記念に作ったらしい）でゲームを行なっているということくらいしか教わることができませんでした。

この公民館的な建物は、コートが一つやっととれる程度の大きさでした。なお侯爵邸は水曜日には公開しているそうですが、これは古い物を愛する人々のために、バドミントン競技には関係なさそうですが、もし、水曜日に訪れることができたら少しは疑問が解けるかもしれないと残念に思いました。

しかし、「元祖バドミントン饅頭」等を売っていないのは何よりで、この古いきれいな村の風物だけでも味わうことが出来、楽しい気持になりました。

バドミントン村に別れをつげて、南に約二十キロメートル程行った所に「バス」という町があり、古いローマ風呂の遺跡のある観光地を通りました。

風呂の語源になったともいわれている町で、一説によれば、インドのプーナという羽根つきゲームをこの町でプーナゲームという形に作ったルールが現在のバドミントンゲームの基だともいわれています（平凡社世界大百科事典）。

この町もまたこのスポーツに関係があると思うと無縁ではないような気がして、楽しくなりました。

以上のような次第で、私の考えていた具体的な事柄については何も収穫を得ることは出来ませんでしたが、何とはなく落着いた気持になって帰って来ました。これを機会に、何か御存知の方がありましたらいろいろとお教示下さると幸いと考えております。

（四十九年十月八日記）

昔、このバドミントンを最初にゲーム化したというバドミントン村のビュフォード侯爵邸のどこかにコートを作った時、その場所の広さなどに制約され、

第二回国際招待バドミントン大会＝10・9〜12 インドネシア・ジャカルタ

日本チーム苦杯——湯木はベックに、竹中はタティに敗る

イギリス女子は単を、インドネシア女子は複を獲得す

第二回国際招待バドミントン大会は、去る10月9日から12日までインドネシアのジャカルタで開催された。

この大会は、各国の代表選手を一堂に集めて行なわれ、招待大会としてはかなり内容のあるものとなった。

日本からは、湯木博恵、相沢マチ子、竹中悦子、池田美加の女子四選手が参加したが、優勝することはできなかった。

男女とも中国は不参加であったとはいえ、各国の有力メンバーが多数参加していたので、ここにその全記録を報告いたします。なお、世界チャンピオンのルディ・ハルトノ（インドネシア）は残念ながら不参加であった。

▼女子シングルス一回戦

湯木 2 (12-9, 9-11, 11-4) 1 スリ・ウィヤンティ（イ）

トンカム（タ） 2 (11-5, 11-8, 1-11) 1 ニールセン（英）

ベック（英） 2 (11-3, 11-8) 0 シルビア（マ）

池田 2 (11-6, 8-11, 11-2) 1 ギルス（英）

相沢 2 (11-7, 8-11, 12-11) 1 ウェットナール（英）

竹中 2 (11-2, 11-8) 0 ボクソール（英）

ウィジャステ（イ） 2 (11-2, 11-5) 0 コーペン（デ）

▼男子シングルス一回戦

リエム（イ） 2 (15-10, 15-4, 11-15) 1 パクドン（印）

ワイジュディ（イ） 2 (15-13, 15-1) 0 ファ（マ）

タティ 2 (11-1, 11-2) 0 ビューセコム（オ）

▼女子ダブルス一回戦

ミナル・レジナ（イ） 2 (15-7, 15-10, 5-15) 1 竹相 中沢

チュン・チュン（イ） 2 (15-4, 15-2) 0 ハンセン・デルフス（デ）

タルボット（英） 2 (15-9, 15-7, 13-15) 1 ポーンチャイ（タ）

バンディ（タ） 2 (15-5, 15-6) 0 ウェットナール（英）

プリ（デ） 2 (15-2, 15-4, 11-15) 1 クリスチャン（イ）

ベック・ギルス（英） 2 (15-10, 18-13, 11-15) 1 ニールセン・シルビア（英・マ）

コーペン・ビューセコム（デ・オ） 2 (15-12, 2-15, 15-7) 1 湯木 池田

ボクソール・ウェットナール（英） 2 (15-12, 15-12, 14-17) 1 ウィジャステ・イメルダ（イ）

▼男子ダブルス一回戦

ベック・ギルス 2 (15-9, 15-6, 10-15) 1 トンカム・ウィヤンティ（イ）

クリスチャン・チャンドラ（イ） 2 (15-9, 15-5) 0 パクドン・ヌヌン（印・イ）

プリジョン・ソン（デ・ス） 2 (15-8, 15-9) 0 リャンフィ（マ）

ハンセン・デルフス（デ） 2 (15-8, 15-9) 0 ウェットナール・タルボット（英）

チュン・チュン・ワジュディ（イ） 2 (15-12, 15-3) 0 ジャイエン・ポーンチャイ（タ）

▼女子シングルス二回戦

湯木 2 (11-7, 11-4) 0 トンカム

ベック 2 (11-1, 12-10) 0 池田

タティ 2 (11-5, 11-7) 0 相沢

竹中 2 (11-8, 11-7, 7-11) 1 ウィジャステ・イヤ

▼男子シングルス二回戦

プリ 2 (15-10, 15-7) 0 タルボット

ヌヌン（イ） 2 (15-6, 15-9, 12-15) 1 デルフス（デ）

チュン・チュン 2 (15-2, 15-10) 0 ジャイエン

リエム 2 (15-3, 15-8) 0 ワジュディ

▼女子ダブルス準決勝

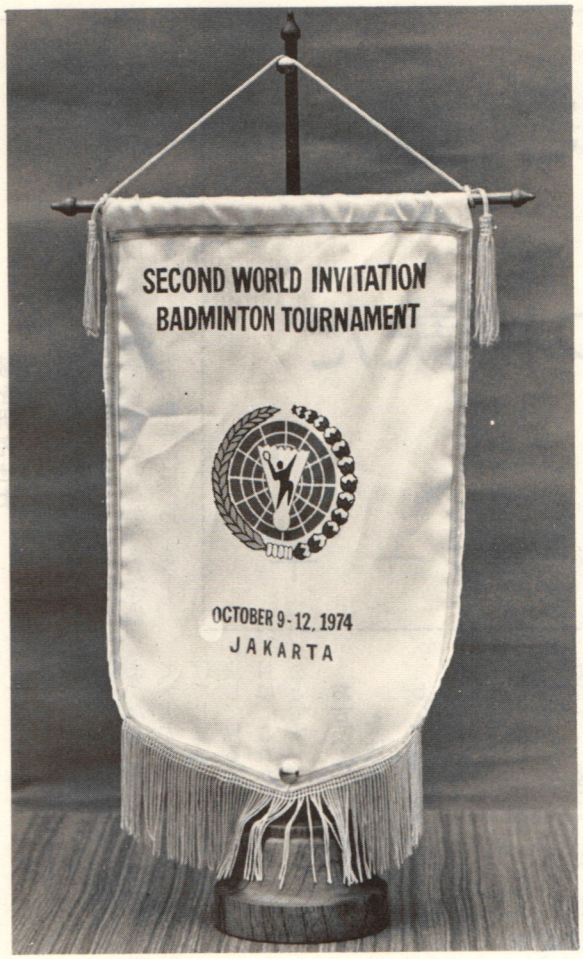
コーペン・ビューセコム 2 (18-16, 12-15, 15-6) 1 ボクソール・ウェットナール

ミナル・レジナ 2 (15-3, 15-11) 0 ベック・ギルス

▼男子ダブルス準決勝

チュン・チュン・ワジュディ 2 (15-2, 15-6) 0 ハンセン・デルフス

本大会のペナント



〔国名略称〕イ＝インドネシア、英＝イギリス、デ＝デンマーク、ス＝スウェーデン、オ＝オランダ、マ＝マレーシア、タ＝タイ、印＝インド

▼混合ダブルス一回戦

チュン チュン ウィヤンティ（イ） 2 15-9 15-4 0
ポーン チャイ トンカム（タ） 0 9-15 4-15 2

タルボット ウェトナール（英） 2 15-12 15-11 0
リアビン アー（マ） 0 12-15 11-15 2

ハンセビュー セコム（デ・オ） 2 15-10 0-15 15-9 1
ウェトナール ボクソール（英） 1 10-15 15-0 9-15 2

クリスチャン レジナ（イ） 2 15-9 15-11 16-17 1
デルフ ギルス（デ・英） 1 9-15 11-15 17-16 2

▼女子シングルス準決勝

ベック 2 11-7 12-9 0
湯木 0 7-11 9-12 2

タティ 2 11-2 12-11 0
竹中 0 2-11 11-12 2

▼同三位決定戦

湯木 2 11-2 10-12 11-5 1
竹中 1 2-11 12-10 5-11 2

▼男子シングルス準決勝

チュン チュン 2 15-2 15-8 0
ヌヌン 0 2-15 8-15 2

プリ 2 15-6 15-8 6-15 1
リエム 1 6-15 8-15 15-6 2

▼同三位決定戦

プリジョン ソン 2 15-10 15-8 0
クリスチャン チャン 0 10-15 8-15 2

▼女子ダブルス三位決定戦

ボクソール ウェトナール 2 15-10 15-11 0
ベック ギルス 0 10-15 11-15 2

▼男子ダブルス三位決定戦

プリジョン ソン 2 15-7 15-5 2-15 1
ハンセ デルフ 1 7-15 5-15 15-2 2

▼同三位決定戦

リエム 2 15-1 10-15 15-9 1
ヌヌン 1 1-15 15-10 9-15 2

▼女子ダブルス決勝

ミナル ニレジナ 2 15-8 15-7 0
コーペン ビューセコム 0 8-15 7-15 2

▼女子シングルス決勝

クリスチャン レジナ 2 15-3 15-7 0
チュン ウィヤンティ 0 3-15 7-15 2

▼男子シングルス決勝

プリ 2 15-10 17-16 3-15 1
チュン チュン 1 10-15 16-17 15-3 2

▼女子シングルス決勝

ベック 2 11-6 11-1 0
タティ 0 6-11 1-11 2

▼同決勝

タルボット ウェトナール 2 15-6 15-5 0
ハンス ビューセコム 0 6-15 5-15 2

▼男子ダブルス決勝

チュン チュン ワジュディ 2 15-6 9-15 15-13 1
クリスチャン チャン ドラ 1 6-15 15-9 13-15 2

実戦教室 〈第10回〉

に勝つ秘訣だ

小島一平

敵と闘う前に自分自身と闘え

試合にのぞむ前に、まずパートナーとしっくりいっていなければ、良い結果を得ることは不可能でしょう。

お互いに、ベストの状態で、試合にのぞむことができれば、それにこしたことはありませんが、もし、相手の調子が悪くても、我慢に我慢を重ね、パートナーの調子が出るまで待つのです。

お互いが、常に、調子が良いとは限らないからです。パートナーのミスが、多いからといって、やる気をなくしたりしたのでは、話になりません。

そしてまた、自分の成長を自分で止めているようなものです。

お互いに適切にアドバイスせよ

試合中に、攻撃の方法、守備の方法について、思い切って、どしどしアドバイスをし、それにそってプレーすることです。

単調なペースで、実力を発揮することなく負けては、なんにもなりません。

敵を研究せよ

たとえば、攻撃主体のダブルスであれば、シャトルを上げず、攻撃をさせないとか、また守備のダブルスには、あくまでも、その守備を打ち破るように波状的な、攻撃に徹するとか。相手を十分に研究して、それに応じた試合運びが大切です。

弱点を徹底的に攻めろ

なかなか二人の力が揃っているダブルスはありませんから、力の落ちる方へ、徹底的に球を集めるのです。

とにかく、勝負は勝たねばなりません。

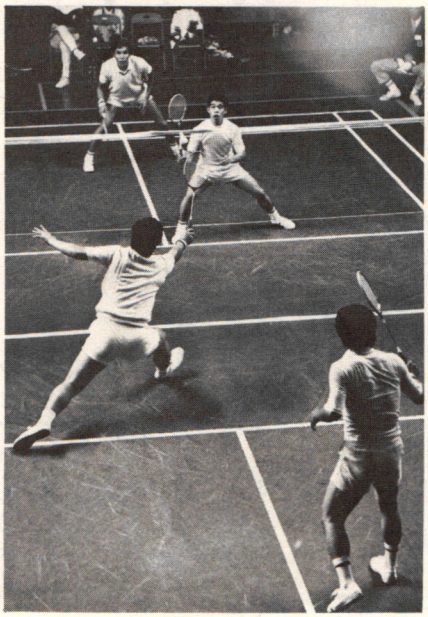
一ゲームを落としても焦るな

ダブルスは、展開によっては、まったく、相手のペースに入って、実力を出し切れぬまま、負けてしまうこともありますが、決して焦ることなし、二ゲーム目に、これからだと思い頑張ることです。

お互いに守備範囲を決めておけ

よく、センターをスマッシュで割られるケースがあると同時に二人で見送ってしまうことが、試合でたびたびあります。

このようなことのないように、練習から、常にケース・バイ・ケースで、どちらが取るか決めておくことが大切です。



本年度の国民体育大会決勝で池田・梶野尾組と対戦しているところ、右端が筆者、パートナーは宮川選手

パートナーに決めさせろ

自分が決めるのももちろん必要ですが、それと共に、チャンスボールをつくることをこころがけ、パートナーに決めさせる。

ダブルスは、二人でプレーするもの、つねに、パートナーに、チャンスボールをつくってあげる気持で、プレーすることが必要です。

変化に富んだ攻撃をせよ

一ゲーム目は、通用しても二ゲーム、三ゲーム目となれば、相手が慣れてくるので、コースを変え、また、スマッシュも10の力、9の力、8の力、また、長いスマッシュ、短いスマッシュをおりまぜ、変化に富んだ、攻撃が良いのです。

敵をゆさぶってスマッシュを叩きこめ

レシーブの上手な選手に、いくらスマッシュを乱発しても、シングルスよりも、守備範囲がせまいのですから、おのずと、レシーブが楽になります。

そこで、まずスマッシュを打って、ネット前へカットなり、ドロップを打ち、そのうちレシーブが、甘くなったり浅くなったりした球を、ぶち込むことです。

●連載

体当たり

これがダブルス

●*Ippei Kojima*

ダブルスで勝つための15の秘訣

1 敵と闘う前に自分と闘え
2 お互いに適切にアドバイスせよ
3 敵を研究せよ
4 弱点を徹底的に攻めろ
5 1ゲーム目を落として焦るな
6 お互いに守備範囲を決めておけ
7 パートナーに決めさせろ
8 変化に富んだ攻撃をせよ
9 敵をゆさぶってスマッシュを叩きこめ
10 攻撃は最大の防衛なり
11 パワーなくして勝利なし
12 内に闘志を秘めよ
13 パートナーの最大の理解者となれ
14 レシーブは前で前で
15 ショート・サービスにこだわるな

攻撃は最大の防御なり

いくらレシーブがよくても、波状的なスマッシュが襲ってくれば、最後は、攻撃しているチームがポイントをとるケースが確率的に、多いようです。

しかしスマッシュを連続打つことは容易ではありません、相手も必死にレシーブし、なんとか体勢をくずすなり、ミスをさせようとしているのですから、球の下に入ることが出来なくても、飛び込んでまた、飛びついて打てることが必要です。

パワーなくして勝利なし

中国のチームは、ムチのようなしなやかな体と、爆発的なパワーを持っていました。

足、腰、腕、手首、腹筋、背筋どれが弱くてもマイナス、トレーニングできたえることです。どれも継続的に。

とにかくパワーは、技を制することは間違いありません。

内に闘志を秘めよ

ダブルスは、細かいプレーが要求されますから、カッカしたり、エキサイトしたら、まず不利です。

内に闘志を秘めて、つねにクール（表面は）でありたいものです。

自信がある時は、ミス・ジャッジも気になりませんし、相手を必要以上に意識することはありません。

パートナーの最大の理解者となれ

二人でやるもの、相手の性格、そして相手の打つコース、特長すべてわかれば、これほど強いものはありません。

たとえば、パートナーが、どういうケースに、こういったプレーをするとか、これをつかむよう努力して下さい。

レシーブは前で前で

スマッシュを速いレシーブで返球することにより、相手は、一呼吸おけなくなり、すなわちスタミナを消耗し、また焦ってミスをする効果があるのです。

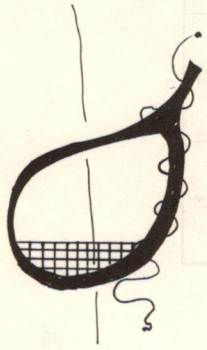
レシーブを引き込むことは、それだけ、相手に対する返球が遅くなるわけで、相手は常に万全の構えで、攻撃体勢に入ってしまうわけである。

ショートサービスにこだわるな

ショート・サービスに自信がない時、また相手に威圧感がある時は、思い切って、ロング・サービスに用いることが必要。

ケース・バイ・ケースでプレーを変化させることが、勝負の別れ目となります。

これは、相手の弱点を見抜くということにも通じるのです。



昭和49年度日本バドミントン協会検定審査用具一覧表

銘柄名		価格	会社名
検定合格			
シャトル　水鳥の部			
エリート・デラックス	1打	¥ 3,500	河崎ラケット工業㈱
エリート・トップ	〃	¥ 2,900	〃
エリート・エース	〃	¥ 2,700	〃
ハイレッド	〃	¥ 2,400	株式会社　三和
No.195ゴールド・デラックス	〃	¥ 3,400	株式会社　ゴーセン
No.200ゴールド	〃	¥ 2,900	〃
No.210シルバー	〃	¥ 2,600	〃
ファスト・ゴールド	〃	¥ 2,800	有限会社　ジャワ商会
ファスト・シルバーE7	〃	¥ 2,600	〃
ファスト・グリン	〃	¥ 2,400	〃
トーナメント・デラックス	〃	¥ 3,500	ヨネックス・スポーツ㈱
トーナメント	〃	¥ 2,900	〃
トーナメント・ホワイト	〃	¥ 3,000	㈱トヨダスポーツ
トーナメント・ブルー	〃	¥ 2,700	〃
トーナメント・ブラック	〃	¥ 2,500	〃
ハタチ・ビクトリー	〃	¥ 3,000	羽立工業株式会社
サンバタ・スター	〃	¥ 3,500	株式会社　諸江製作所
サンバタ・キング	〃	¥ 2,900	〃
サンバタ・クィーン	〃	¥ 2,700	〃
シャトル　陸鳥の部			
検定球	1打	¥ 1,600	ヨネックス・スポーツ㈱
サンバタ	〃	¥ 1,600	株式会社　諸江製作所
サンバタB	〃	¥ 1,600	〃
ネットの部			
倉敷ビニロンマツモトネット		¥ 3,400	松本製網株式会社
No.48TR		¥ 4,500	ミセキネット製作所
No.50VA		¥ 4,300	〃
No.52A		¥ 3,700	〃
T－518		¥ 4,200	株式会社　寺西喜商店
カネヤビニロンA		¥ 4,700	鐘屋産業株式会社
カネヤナイロンB		¥ 4,100	〃
#70－2112		¥ 4,500	㈱ジィティヤング
#70－3015		¥ 3,900	〃
#70－3115		¥ 4,300	〃
ポストの部			
T座式バドミントン支柱		¥17,000	ヨネックス・スポーツ㈱
B50		¥13,500	セノー株式会社
B51		¥21,000	〃

銘柄名	価格	会社名
No.10スリーエース	¥ 1,800	ヨネックス・スポーツ㈱
No.8スリーエイト	¥ 1,500	〃
No.7ラッキーセブン	¥ 1,200	〃
S－74オールアタック	¥ 5,000	株式会社　諸江製作所
S－73オールマイティ	¥ 3,800	〃
No.3500キングメイト	¥ 4,000	〃
No.3000ゴールド・キング	¥ 3,500	〃
No.2500キング・アロー	¥ 2,800	〃
No.2000キング・クリッパー	¥ 2,300	〃
No.1000シルバーデラックス	¥ 1,900	〃
No.900スナップ	¥ 1,800	〃
No.800ダンディ	¥ 1,500	〃
ハタチフットワーク	¥ 4,000	羽立工業株式会社
ハタチカスタム	¥ 3,500	〃
ハタチフランチャー	¥ 3,000	〃
ハタチジオニー	¥ 2,000	〃
オールスチールグラード	¥ 3,500	〃
No.2000ニューブラック	¥ 2,000	㈱トヨダスポーツ
No.1000ニューミニ	¥ 1,800	〃
No.8ウインナー	¥ 1,300	〃
No.7シルバー	¥ 1,000	〃
ウエアの部		
S－14TTT半袖シャツ	¥ 2,800	河崎ラケット工業㈱
No.508リース半袖シャツ	¥ 2,200	〃
No.505リース・ノースリーブシャツ	¥ 2,100	〃
No.502リース・長袖シャツ	¥ 2,300	〃
No.500リース・半袖シャツ	¥ 2,100	〃
No.517リース・長袖ハイネックシャツ	¥ 2,300	〃
No.516リース・半袖ハイネックシャツ	¥ 2,100	〃
No.512リース・長袖シャツ	¥ 1,700	〃
No.510リース・半袖シャツ	¥ 1,500	〃
K－11TTT巻スコート	¥ 3,800	〃
No.595リース・プリーツ・スコート	¥ 2,000	〃
No.594リース巻スコート	¥ 3,000	〃
No.590リースフレアースコート	¥ 2,500	〃
No.596リースアンダースコート	¥ 700	〃
No.535リースショートパンツ	¥ 2,100	〃
No.532リーストレッチショートパンツ	¥ 3,400	〃
デフィ・ライン入半袖シャツ	¥ 3,000	〃
デフィスコート	¥ 3,300	〃
デフィライン入巻スコート	¥ 3,600	〃
デフィショートパンツ	¥ 3,600	〃
No.373ルバードウェア半袖シャツ	¥ 1,900	株式会社　ゴーセン

バドミントン支柱　ホール式		¥ 6,800	㈱小川長春館	No.372ルバードウェア半袖シャツ	¥ 1,900	〃
バドミントン支柱　T座式		¥17,000	〃	ルバードウェアショートパンツ	¥ 1,900	〃
バドミントンポスト		¥ 6,500	㈱都村製作所		¥ 2,050	〃
バドミンポスト　T字式		¥ 6,500	〃	No.243女子ノースリーブシャツ	¥ 1,900	ヨネックス・スポーツ㈱
				No.140クールネックシャツ	¥ 1,800	〃
ラインテープの部				No.141男子シャツ	¥ 2,000	〃
No.415コートテープ		¥ 2,300	ヨネックス・スポーツ㈱	No.142　〃　（ライン入）	¥ 2,200	〃
シムレス・ラインテープ（特殊紙）		¥ 2,000	タチカラ株式会社	No.241女子シャツ	¥ 2,000	〃
セノーラインテープ		¥ 2,160	セノー株式会社	No.242　〃　（ライン入）	¥ 2,200	〃
カワサキラインテープ		¥ 2,200	河崎ラケット工業㈱	No.120ショートパンツ	¥ 2,800	〃
赤Mラインテープ		¥ 1,800	昭和ゴム株式会社	No.121ショートパンツ	¥ 2,400	〃
サンバタバドミントンコートテープ	緑	¥ 2,100	株式会社　諸江製作所	No.122ショートパンツ	¥ 2,100	〃
〃	白	¥ 2,100	〃	No.920女子ショートパンツ	¥ 2,500	〃
〃	黄	¥ 2,100	〃	No.200女子巻スカート	¥ 2,600	〃
				No.201女子フレアースカート	¥ 1,900	〃
審査合格				No.203女子プリーツスカート	¥ 1,800	〃
				No.214女子ワンピース	¥ 5,500	〃
合成シャトルの部				No.940女子ワンピース	¥ 6,500	〃
カワサキリーブ	1打	¥ 2,700	河崎ラケット工業㈱	No.950女子プルオーバー	¥ 6,000	〃
メイビス	1打	¥ 200	ヨネックス・スポーツ㈱			
ハタチハネエース	1個	¥ 2,700	羽立工業株式会社	**シューズの部**		
ナッシュ	1個	¥ 160	株式会社　諸江製作所	バドミントンシューズ	¥ 2,000	河崎ラケット工業㈱
				バドミントンシューズ	¥ 2,000	ヨネックス・スポーツ㈱
ラケットの部						
B－65ゴーセンルバード		¥ 4,500	株式会社　ゴーセン	**ストリングスの部**		
B－60スワニー		¥ 4,500	〃	LEOINA-SHEEP	¥ 450	東亜合繊㈱
B－55エクセレント		¥ 4,200	〃	HORN-SHEEP DX	¥ 400	〃
B－40ファイアレス		¥ 3,000	〃	HORN-SHEEP	¥ 350	〃
No.B－73Fオールマン		¥ 4,500	河崎ラケット工業㈱	SP-SHEEP	¥ 300	〃
B－69Fブルーリース		¥ 4,000	〃	SANY-SHEEP SSW	¥ 300	〃
No.1200Fスタミナ・デラックス		¥ 3,500	〃	TOA-GUT	¥ 200	〃
No.1000Fスタミナ		¥ 3,000	〃	No.600ヨネックスシープA	¥ 300	ヨネックス・スポーツ㈱
No.201Fウイニング・コース		¥ 2,000	〃	No.610ヨネックスシープB	¥ 400	〃
No.204ファインストローク（張り上り）		¥ 1,800	〃	No.20サンバタバドミントンガットサンシープ	¥ 250	株式会社　諸江製作所
No.206エバーウイン　（　〃　）		¥ 1,600	〃	No.K226サンバタバドミントンガット	¥ 150	〃
No.210ハード・ショット　（　〃　）		¥ 1,300	〃	No.100サンバタバドミントンガット	¥ 350	〃
No.9100スリム・ステンレス		¥ 5,300	ヨネックス・スポーツ㈱	No.10サンバタレインボーシープ	¥ 300	〃
No.9000ハイ・ステンレス		¥ 4,800	〃	No.279ロンシープ	¥ 300	河崎ラケット工業㈱
No.8100ブラッキー		¥ 5,500	〃	No.276コンカー	¥ 400	〃
No.8000アルミナ・ハイパワー		¥ 5,000	〃	No.270ニューナイロン	¥ 150	〃
No.7000アルミナ・エース		¥ 5,000	〃	No.1000ハイシープ	¥ 300	株式会社　ゴーセン
No.6500トップエース		¥ 4,300	〃	No.1100ハイシープデラックス（赤スパイラル）	¥ 350	〃
No.6000ファイブ・エース・デラックス		¥ 4,500	〃	No.2000ハイオーシープ（青スパイラル）	¥ 450	〃
No.3000カレッジエイト		¥ 3,000	〃	No.2000ハイオーシープ（アンバー）	¥ 450	〃
No.2000キングダイヤ		¥ 2,300	〃	No.1500ハイシープダイヤ	¥ 400	〃
No.1000クインハート		¥ 2,000	〃	No.1100ハイシープデラックス（緑スパイラル）	¥ 350	〃

後に続いてほしい

ファイナルゲームを終えた窪田は、ベンチに戻ると思わず床に座ってしまった。顔をしたたり落ちる汗がなにか寂しそう。

バドミントンはことしもベスト8で敗れた。いや、ことしもベスト8まできたといった方が、より正確だろう。かつて国体三連覇を果たした時のメンバーが、今でも主力である。非常に激しい動きを強いられるこの競技で、十年も第一線を守っているのは驚異的なことだ。

この日全日本チャンピオンの池田・梅野尾(東京)を相手に、窪田・秋山がダブルスで敗れた時、ベスト4進出はすでに断たれていた。

これまで本県はバドミントン王国といわれてきたが、その実、内容はお粗末だった。ただ窪田と秋山がいたからにすぎない。窪田に年齢的な衰えがきた現在、敗れるべくして敗れたと言える。逆に言えば、それだけ二人が偉大な選手であったことを物語っている。

試合中、少しも座らず立ち続けていた原二三雄県バドミントン協会長は、「県スポーツ史に残る選手」と二人を評した。ことしも一人で本県を背負った秋山については、「長島が動物的感覚の持ち主といわれるが、秋山は長島に勝るとも劣らない感覚の持ち主」とも言った。

だが、後続が育たない現状にあっては、二人ともまだ続けなければならない。遠藤真男監督は「なんとか窪田を温存させる方法を考えたい」と話す。衰えたといっても、窪田を追い越す若手がいないのだ。早急にこの二人に追い付き追い越す若手をつくること、それがこの偉大な選手への最良の花むけになり、バドミントン王国再建への道でもあるのだが…。

(山梨日日新聞 10・24)

バド試合は交換会?三チームに県出身選手

日本のバドミントン界は富山県出身者で占められている?—この日、石岡市石岡第二高校体育館で行われたバドミントン一般男子準決勝二試合は、富山—神奈川、東京—愛知の間で熱戦が展開されたが、富山県勢はもちろんだが、東京、愛知チームに二人ずつ計四人、富山県出身者がいた。

決勝に勝ち進んだ東京チームには梅野尾昌一(富商出身)池田信孝(同)選手が、二十四日富山県チームと三位決定戦を行う愛知県チームには松島保(富商出身)谷口寛(上市高出身)選手らがそれ。また、二十二日の同三回戦で富山と対戦し、2—1で敗れた埼玉県チームにも五十里光秋監督(魚津市出身)尾崎幹雄(富商出身)平井克英(上市高出身)選手の三人が富山県出身。

このように富山県出身者の選手が多く出場したことに「激烈な試合というより何やら〝県人会〟の交歓試合という感じだな」とは当の選手や役員の声。しかし見方を変えればこうした優秀選手が富山に残らず〝技術と力〟が流出しているともいえるわけで、地元での選手育成強化の姿勢や魅力ある勤め先がないともいえそう。(富山新聞10.24)

目をうるませる父親

「父ちゃんが応援に行ってあがったりしないか」—高校女子バドミントン決勝の前日、会場のある石岡市の宿舎に大塚ソノエさん(一八)の父親行雄さん(四三)から電話があった。

全日本選手権、インタハイと二度の優勝を飾ったときも稲作に追われ、農閑期ともなれば県外に職を求める行雄さんは娘の熱戦を見ることが出来なかった。

この大会が父親の最初の観戦。試合は1—1のまま最終ゲームのシングルス。大塚選手と渡辺幸子選手(香川・善通寺第一)の一戦に優勝がかかった。二階観覧席の最前列から、シャトルを追い、激しいスマッシュで応戦するソノエさんの厳しい表情を見つめる行雄さんにふとこんなことが思い出された。

それは相川高千中学卒業前にソノエさんが「新潟青陵でバドミントンを続けたい」と行雄さんに懇願したときの表情とそっくりそのままだったことだ。「おかしなもんです。私のほうがドキドキしてみたりして…」。目をうるませる行雄さんだった。

(新潟日報 10・25)

ゆかいな小島選手

石岡市のバドミントンで、観客の人気を集めたのが本県の小島選手。ダブルスの第二ゲーム、宮川選手(ラケットショップ元町)がスマッシュでイージーミスを出した時に「バカ」と大声を張り上げ、観客をびっくりさせた。

第一シングルスが敗れて勝敗には関係なくなったが、併行して行われた第二シングルスでは、サービスを中断して隣のコートのラリーの応酬に見とれ、笠井選手がポイントをあげると思わず拍手。

また自分のスマッシュがネットに触れて幸運なポイントになると、手を合わせて相手選手に「ゴメン、ゴメン」のひょうきんなしぐさ。そのたびに観客席から「ゆかいな面白い選手」と笑いがもれた。

こんなところが海外でも人気を集めるらしく、ことしジャカルタの親善試合に遠征して来たという日本協会の理事は「なぜ小島を連れてこないんだと言われて困りました」と話していた。

(神奈川新聞 10・25)

〝三人娘〟国体も制す

新潟青陵高校トリオでのぞんだこの大会。高校選抜、インタハイ、そして国体。みんな勝った。文字通り〝三冠王〟だ。たばこをうまそうに吸いながら佐藤監督がつぶやいた。「久しぶりだナァ、なんせ七年ですから」。吐き出す煙に実感がこもってい

た。

「当然優勝をねらう」と言って新潟を出て来たバドミントンチーム、期待のチームであった。大塚選手の父親行雄さん(四三)も二十三日夜、佐渡から駆けつけて観覧席で優勝戦をじっと見守っていた。佐藤監督が試合前に選手にいったことは「ダブルスではミスをしてもこわがらずに行け」。そして結果は2－1。「関根、大塚はうまく助け合ったし、団結の勝利です」。

試合を終え会場前の芝生に佐藤監督と大塚ソノエさん、キャプテン関根和子さん、佐藤由貴子さんが弁当を広げた。三人とも中学一年生からバドミントンを始めた。「高校生活の最後を飾れてよかったわ」と〝若いトリオ〟。関根さん、大塚さんは大学に進学してバドミントンを続けたいという。

赤いユニホームにトレーニング姿の三人。ご飯を食べ終わると会場わきの特設テントへ。「お土産何にする?」と女の子らしい相談。国体記念品を買い求めていた。外は秋晴れ、彼女たちの足取りも軽やかだった。

(新潟日報　10・25)

協会通信——各地のたより

愛知県協会

去る10月6日、愛知県刈谷市体育館で行なわれた第19回東海実業団バドミントン選手権大会は、静岡県の富士市役所が、準決勝で、過去三連勝しており、実に16回目の優勝をねらう愛知県のトヨタ自動車工業を降し、初優勝をとげた。

一方、女子はトヨタ自動車工業が順当に、四連勝で16回目の栄冠に輝いた。

▼男子団体戦▽準々決勝

トヨタ自動車工業(愛知)3－0日本電装(愛知)、富士市役所(静岡)3－0豊田自動織機(愛知)、新日鉄名古屋(愛知)3－0名古屋市役所(愛知)、富士写真フイルム富士宮(静岡)、3－1名古屋鉄道(愛知)

▽準決勝

富士市役所3－1トヨタ自工
富士写真フ3－1新日鉄名古屋

▽三位決定戦

トヨタ自工3－0新日鉄名古屋

▽決勝

富士市役所3－1富士写真フ

〔富士市役所メンバー〕

監督＝川端忠司、選手＝平野孝雄、笠井憲一、増田錠一、鳥居恒雄、菅沼友明、笠井好美、古郡文博

▼女子団体戦▽準決勝

トヨタ自工　2－1　桃山クラブ(愛知)
日本電装　2－1　本州製紙富士(愛知)

▽三位決定戦

桃山クラブ2－1本州製紙富士

▽決勝

トヨタ自工2－0日本電装

〔トヨタ自工メンバー〕

監督＝小林洋子、選手＝宮内すみ子、布上茂美、松谷優子、蒲田優美子

東京都協会

このたび、東京都バドミントン協会の総会が9月4日に開催され、左記のとおり役員が決定いたしましたのでご報告いたします。

名誉会長＝福田　篤泰
会　長＝小口　政雄
副会長＝原　文兵衛
〃　＝玉手　庸
理事長＝浅岡　武
事務担当＝清水　善一
新事務所＝東京都葛飾区四つ木1～33～19
電話＝03～693～3547

水鳥　検定合格球
ファストゴールド
ファストシルバー
全国大会使用球
ファスト印シャトル
コック　製造発売元
有限会社　ジャワ商会
山形市六日町7の28
電話0236(33)0333(代表)

マスコミのとらえたバドミントン・協会通信

＝みんなで見にいこうオール・ジャパン＝

いよいよ一九七四年の最後をかざる全日本総合選手権大会が来る12月10日の開会式を幕開けに、12月15日まで東京で開催されます。

この大会は、(1)昨年度全日本総合選手権大会ランキング10位以内、(2)今年度全日本社会人ランキング8位以内、(3)今年度全日本教職員ランキング8位以内、(4)今年度全日本実業団ランキング8位以内、(5)今年度全日本学生ランキング8位以内、(6)今年度全国高校ランキング8位以内、といった条件を満たさねば出場できない非常にレベルの高い、まさに一九七四年のナンバーワンを決定する。いわば決戦大会です。

最終出場選手はまだ決定していませんが、予想される顔ぶれで、今大会の見どころを追ってみましょう。

■男子シングルス

やはりなんといっても小島一平（ラケットショップ元町）が三年連続優勝をかざり、八度目の栄冠を手にするかどうか、というのが最大の焦点でしょう。

昨年に比べるとやはり生活の変化から練習量の不足は否定できません。しかし、それを補ってあまりあるガッツと、持ち前の一発勝負の強さで、やはり優勝候補の本命です。

もし小島が敗れるとすればそれはいったい誰か。

全日本社会人で粘りづよいプレーを見せ、優勝した今泉（高岡市役所）、国体で東京に優勝をもたらした梅野尾（ヨネックススポーツ）、驚くべきスタミナをもつ遠藤（電々北海道）、あるいは本間（トヨタ自工）あたりでしょう。しかし、今泉はさきの国体で小島に一方的に敗れており、過去にも相性が悪く、また本間は練習不足が目立つので、やはり対抗としては梅野尾ということになるでしょう。そして番狂わせがあれば遠藤というところ。

もし準々決勝あたりからせり合いがつづくことになると、小島としても苦しくなり、楽観は許されないでしょう。また、長谷川（勝山高）、滝川（金沢市工）、小林（逗子開成）、成田（日大鶴が丘）といった高校生がどのようなプレーをみせるかも大いに興味あるところです。

■女子シングルス

全英選手権で王座に返り咲いた湯木（河崎ラケット）をおびやかす選手は今のところまったく見当たりません。しかし、来年六月のユーバー杯防衛戦を控えて、湯木に続く選手がどうしても必要です。徳田（四条畷学園短大）、井上（日体大）といった若手の奮起をのぞみたいところです。

■男子ダブルス

全英、アジア大会ともにベスト4に進出し、国体でもその実力をみせた池田（電電東京）・梅野尾（ヨネックススポーツ）組が最有力ペア。これに続いて若さあふれるスピーディなプレーをする飯野・土田組（日大）、昨年の雪辱をねらいたいベテラン秋山（秋山紙店）・小島（ラケットショップ元町）組といったところでしょう。本間（トヨタ自工）、谷口（同）、今泉（高岡市役所）、河村（同）、田所（電電東京）がどのようなペアで出場するかによって、優勝戦線にもひと波乱ありそうです。

また若手では、笠井・高橋組（関東自動車）、今井・桐生組（群馬県教員）、さらに長谷川・諏訪（勝山高）、塚本・小倉組（奈良一条高）といったところが、ベスト8に食いこむようになると大会も大いにもり上がり、日本の前途にも明かるい材料となるのですが、はたしてどのような試合が展開するか。

■女子ダブルス

最近いまひとつ好調の波に乗れず苦しんでいる相沢・竹中組（ヨネックス・スポーツ）が六度目のタイトルを獲得するかどうかが見どころ。若手若手といわれていた相沢・竹中組もそろそろ中堅にはいってきた。来年のユ杯戦のためにも、このペアの最大の難点になっている〝お天気屋〟のムードを一掃してほしいものである。つねに安定した力を出せるようになれば、まだまだ将来性の高いペアなのですから。

これに対し湯木・池田組（河崎ラケット）も安定感という点では不十分ですが、池田に当たりがでてくれば非常に強いペアです。この二つのペアが昨年につづいて決勝で顔を合わせるのが順当ですが、ここでなんとか学生界を代表して、西尾・秋本（日体大）、石田・吉田（日女体大）、古谷・佐伯（日体大）あたりにがんばってもらいたいところ。古谷はシングルスでも上位進出がねらえる選手です。

■混合ダブルス

昨年は男子ダブルスばりの強さを見せた梅野尾・竹中（ヨネックス・スポーツ）が出場すれば、やはり最有力ペアでしょう。堺（河崎ラケット）が湯木（河崎ラケット）とペアを組めばかなり強力になり梅野尾・竹中も安泰とはいえなくなります。また堺が天野（東海女子短大）と組めば、ベテランの味を生かしたミスの少ないペアとなり、これもまた大いに楽しみです。さらにミックスといえば、この二人、杉田夫妻組（横浜立野高教員・日本コロムビア）を忘れるわけにはいきません。昨年は不振でしたが、今年は巻き返しをはかり、その健在ぶりをみせてほしいところです。

以上のように、今年もまた見ごたえのある熱戦が予想されます。日時は次のとおりですから、ぜひご観戦ください。11日から13日までは入場無料です。

12月11日（水）～13日（金）＝東京都中央区立総合体育館・地下鉄人形町駅下車徒歩7分。

12月14日（土）、15日（日）＝国立競技場代々木第二体育館・国電原宿駅下車徒歩3分。

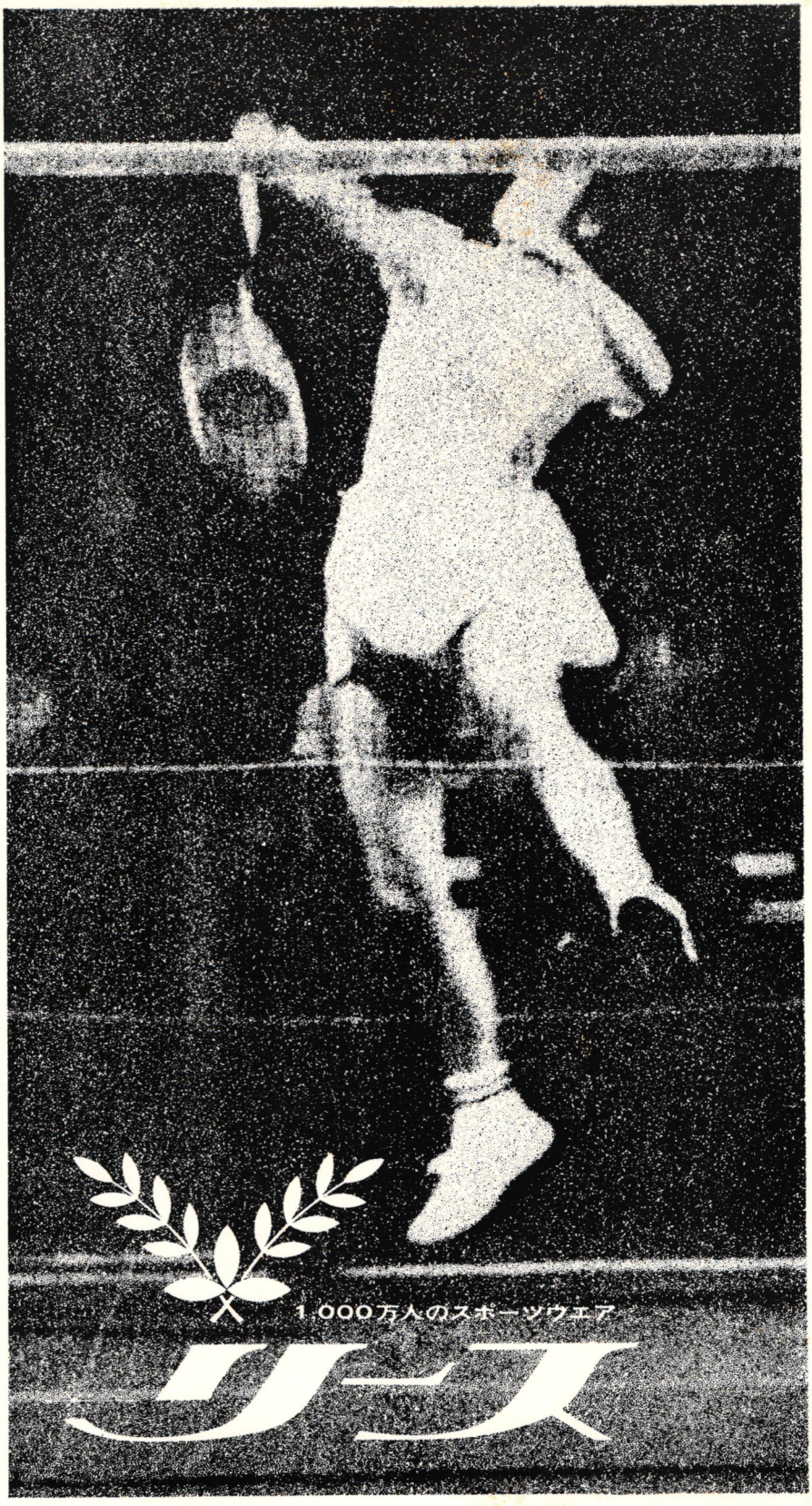
どうぞお知り合いの方、友人、先輩、後輩、ご家族とおさそいあわせのうえ、ご観戦、ご声援くださるようお願いいたします。

お問合せ先＝〇三―四六七―三二一一（内線三五一）

【バドミントン界】第61号
昭和49年10月25日　印刷
昭和49年11月1日　発行
編集兼発行人　泰　浩
発行所　東京都渋谷区神南一の一の一　岸記念体育館内
日本バドミントン協会
電話　四六七・三二一一（内線）三五一
四六七・七〇九五（直通）
郵便番号・一五〇
振替口座・東京三二一九三
印刷所　東京都豊島区南大塚二―二九
明宝印刷株式会社
定価　一部二百二十円

©無断転載を禁ず

この一瞬!!



あなたはひかる――はげしい動き、ふき出す汗、すべての条件をプレイヤー本位に満たすカワサキの〝リース〟はあなたのウエアです。

K TOKYO
河崎ラケット工業株式会社
東京都台東区台東2-28-5 電話(831)1884・0453

昭和四十九年十一月一日発行（毎月一回一日発行）
発行所 東京都渋谷区神南一ノ一ノ一 日本バドミントン協会 定価二百二十円



国籍は世界。ヨネックス。

ヨネヤマが
社名変更しました。

世界の一流プレイヤーに使われ、世界のコートで熱い視線を浴びてきたヨネヤマが、名前を変えました。いま、こころも新たにヨネックス。世界のレベルを決めるブランドに、ふさわしい名前です。グローバルな響きです。バドミントンを科学の目でとらえるヨネヤマの、力強い変身。ヨネックス。この5文字が、ことばの違いを越え、国籍を越えて、ひとびとの心をひとつに結びます。すでにもう、世界のひとたちはかってのヨネヤマをヨネックスと、そう呼びはじめました。さあ、あなたも。

No.9000
ハイステンレス
￥4,800(フレーム・ケース付)

YONEX